

# 鳥取県立武道館 給排気ラインファン更新工事

図番	図名	縮尺
M-00	表紙、図面リスト	NS
M-01	機械設備工事特記仕様書(1)	NS
M-02	機械設備工事特記仕様書(2)	NS
M-03	付近見取図・配置図	1/1000
M-04	機械設備工事 機器表(改修後・改修前)	NS
M-05	機械設備工事 系統図	NS
M-06	機械設備工事 1階平面図	1/300
M-07	機械設備工事 2階平面図	1/300
M-08	機械設備工事 1階用具庫(1)ダクト平面図(改修後・改修前)	1/100
M-09	機械設備工事 1階空調機械室(1)ダクト平面図(改修後・改修前)	1/50
M-10	機械設備工事 1階空調機械室(2)平面図(改修後・改修前)	1/100
M-11	機械設備工事 2階空調機械室(4)平面図(改修後・改修前)	1/100
M-12	機械設備工事 2階空調機械室(5)平面図(改修後・改修前)	1/50
M-13	機械設備工事 2階電気室平面図(改修後・改修前)	1/100
M-14	機械設備工事 消火設備 1階用具庫(1)・空調機械室(2)平面図	1/50
M-15	機械設備工事 仮設計画 1階平面図	1/300
M-16	機械設備工事 仮設計画 2階平面図	1/300
A-01	建築工事 1階用具庫(1)平面図	1/50
E-01	電気設備工事 1・2階平面図	1/100

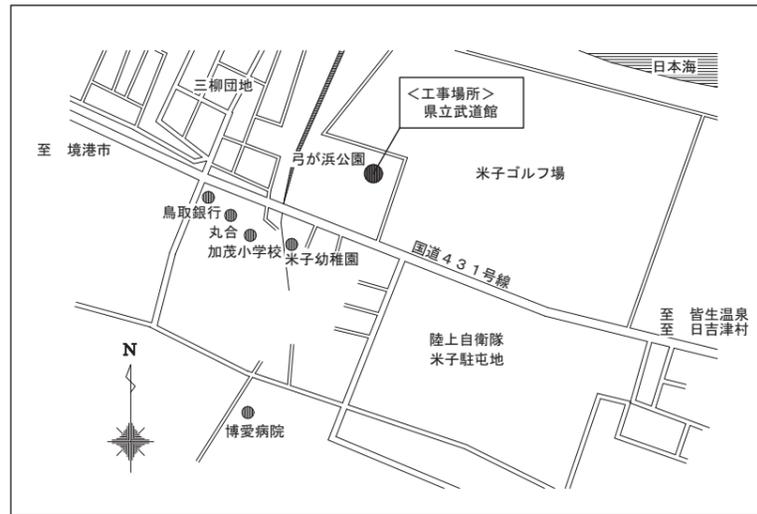




一般 共通 事項	21 鋼管類の防食処置	地中埋設 ● ベトロラム系 ● プチルゴム系 ● 熱収縮チューブ及びシート ● 標準図(施工3)	1 設計用温湿度条件 2 冷却水管 3 冷水・温水・冷温水管 4 膨張・空気抜・補給水管 5 蒸気給水管 6 蒸気還水管 7 油・油用通気管 8 冷媒管 9 空調用給水管 10 空調用排水管 11 弁類 12 ファンコイルユニット 13 ダンパー 14 ダクト 15 吸出口・吸込口 16 チャンパー等 17 消音内貼り 18 瞬間流量計及び流量測定口 19 定風量・変風量ユニット 20 温度計 21 冷水管の空気抜き 22 空調機用トラップ 23 銅板製煙道 24 オイルサービスタンク 25 地下オイルタンク 26 油面制御装置 27 フィルター等付属品 28 パッケージ空調機の能力表示 29 防振吊り及び支持金物 4 1 ダクト 2 排煙口 3 排煙口開放及び復帰方式 4 排煙流量測定 5 1 中央監視制御盤装置 2 電源装置 3 温度調節器等 4 計装工事の配線	● (1)絶縁フランジ ● (2)絶縁シート ● (3)絶縁スリーブ ● (4)絶縁ユニオン ※ 合成ゴム製(球形) ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ペローズ形(ステンレス製) ※ ペローズ形 ● スリーブ形 各種機材のうち、下記の部分は塗装しない。(さび止め塗装は除く。) (ア)埋設されるもの(ただし、防食塗装部分を除く) (イ)亜鉛めっき以外のめっき仕上げ面 (ウ)亜鉛めっきされたもので、常時隠ぺいされる部分 (エ)亜鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類 (オ)樹脂コーティング等を施したもので、常時隠ぺいされる部分 (カ)カラー亜鉛鉄板面 (キ)アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウム-亜鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面 (ク)特殊な意匠の表面仕上げ処理を施した面 (ケ)主・各階機械室内等及び電気室内の亜鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管 ● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す箇所・箇所( ) 呼び径60以下以下の継手は、SAS322を満足するものとする。 ● ガス配管 ● 冷温水配管 ● 冷却水配管 非破壊検査の適用( ● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 ) 抜 取 率 ( ● 標準仕様書による ● % ) ● 地中埋設機材を明示する箇所に設ける。 ● 埋設表示用テープを埋設する。( ● ガス管 ● 屋外給水管 ● ) ポンプ、屋外設置機器及びピット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304とする。 屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。 下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。 ● 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質 ● 風速 ● じんあい ● 飲料水水質 ( ● 一般飲料水適否検査 ● ) ● その他水質等 ( ● 雑用水 ● 空調用流体 ● ) 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 9章 環境配慮改修工事 1節 石綿含有建材の除去工事による。 処理を行うアスベスト含有建材の仕様等 <table border="1"> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。 ※ 官公署その他への手続きは、同仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。 ● 施工調査(分析によるアスベスト含有建材の調査)を行う。 分析方法はJISA1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による。 ● アスベスト粉じん濃度測定を行う。 (測定時期: ) 測定場所: 測定点: ) ● 洗浄設備(洗眼、うがいの設備)及び更衣設備等を設ける。 ● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。 対象箇所( ) 工事の施工に伴い既存部分を汚染又は損傷した場合は、既存にならない補修する。 既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 調査方法 ※ 電磁誘導式 ● 放射線透過検査 実施する。 工事目的物及び工事材料等工事途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。 (保険の加入期限は、工事完成引渡しまで[概ね工期+21日]とする。) グリーン購入は次のものとする。 ● 空調用機器 ( ) ● 衛生器具 ( ) ● 断熱材 ( ) ● 配管材 ( ● 再生硬質ポリ塩化ビニル管 ) ● その他 ( ) 対象工事 38 鳥取県公共工事環境配慮指針 39 建築物省エネ法 40 耐震施工 設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。ただし、重量1kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。 (1) 機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器の重量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)[kN]に、地域係数と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 <table border="1"> <tr> <th>設置場所</th> <th>機器種別</th> <th>● 特定の施設</th> <th>● 一般の施設</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">上 層 階</td> <td>機 器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋上、塔屋</td> <td>水 槽 類</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>機 器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中 間 階</td> <td>防振設置機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>水 槽 類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地階・1階</td> <td>機 器</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>防振設置機器</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>水 槽 類</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 上層階の定義 2～6階建:最上階、7～9階建:上層2階、10～12階建:上層3階、13階建以上:上層4階 中間階の定義 地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの 重要機器 ● 換気機器 ● 空調機器 ● 熱源機器 ● 防災機器 ● 監視制御設備 ● 危険物貯蔵装置 ● 火を使用する設備 ● 避難経路上に設置する機器 ● 水槽類(燃料小出槽を含む) ● ( ) (2) 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 (3) 設備機器の耐震支持及びアンカーボルトの許容耐力と選定については、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(一財)日本建築センター)を参考にする。	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲							設置場所	機器種別	● 特定の施設	● 一般の施設	上 層 階	機 器	2.0	1.5	防振設置機器	2.0	2.0	屋上、塔屋	水 槽 類	2.0	1.5	機 器	1.5	1.0	中 間 階	防振設置機器	1.5	1.5	水 槽 類	1.5	1.0	地階・1階	機 器	1.0	0.6	防振設置機器	1.0	1.0		水 槽 類	1.5	1.0			
	建材の内容・箇所	仕様等		処理を行う範囲																																																
	設置場所	機器種別		● 特定の施設	● 一般の施設																																															
	上 層 階	機 器		2.0	1.5																																															
		防振設置機器		2.0	2.0																																															
	屋上、塔屋	水 槽 類		2.0	1.5																																															
		機 器		1.5	1.0																																															
	中 間 階	防振設置機器		1.5	1.5																																															
水 槽 類		1.5	1.0																																																	
地階・1階	機 器	1.0	0.6																																																	
	防振設置機器	1.0	1.0																																																	
	水 槽 類	1.5	1.0																																																	
22 絶縁継手																																																				
23 防振継手																																																				
24 伸縮管継手																																																				
25 塗装																																																				
26 ステンレス鋼管の接合方法																																																				
27 溶接配管の検査																																																				
28 埋設表示																																																				
29 支持金物・固定金具																																																				
30 総合試運転調整																																																				
31 アスベスト含有建材の処理																																																				
32 補修など																																																				
33 はつり																																																				
34 はつり工事における非破壊検査																																																				
35 室内空気中の化学物質の濃度測定																																																				
36 火災保険等																																																				
37 グリーン購入																																																				
38 鳥取県公共工事環境配慮指針																																																				
39 建築物省エネ法																																																				
40 耐震施工																																																				
6 衛生器具設備	1 衛生器具の参考型番 2 小便器用節水装置	型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。 ※ 小便器一体型 ● 小便器分離型 ● 洗浄水量4リットル/回以下 ※ 個別感知方式 ( ● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池 ) ● 手動式 電源供給方式 ● AC電源 ● 自己発電 ● 乾電池 操作方式 ● 電気開閉式 ( ● センサー式 ● タッチスイッチ式 ) ● 手動式 洗浄水加水温方式 ● 瞬間式 ● 貯湯式 6 器具と排水管接続 ● 標準図(施工64) ● 標準図(施工65)																																																		
7 給水設備	1 量水器 2 配管材料 3 弁類 4 水槽のマンホール	● 親メーター ※ 借用 ( ※ 直読 ● 遠隔表示 ) ● 子メーター ※ 買収 ● 借用 ( ※ 直読 ● 遠隔表示 ) (ア)一般配管 ● SGP-VB ● SGP-PB ● SUS304 ● SUS316 ● H1VP ● 架橋ポリエチレン管 (イ)土間下配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● H1VP ● SUS304 ● SUS316 (ウ)地中配管 ● SGP-VD ● SGP-PD ● H1VP ● SUS304 ● SUS316 ● 水道配水用ポリエチレン管(75～100A) ● 水道用ポリエチレン二層管(50A以下) (エ)特記なき給水管の最小口径は20Aとする。 (オ)ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ● ゴム輪接合(直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする。) (カ)ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ※ 金属製継手 ● 融着継手 75A以上 ※ 融着継手 ※ 口径65A以上の仕切弁及び逆止弁は、ライニング弁とする。 ● 5K(受水槽以降の配管に使用) ● 10K(公営水道に直結する配管に使用) ● 公営水道事業者指定の止水栓又は弁(給水引込部に使用) 屋外に設置する水槽のマンホール蓋は保形(二重蓋含む)とする。																																																		
8 排水設備	1 配管材料 2 排水試験継手 3 バイブシャフト内配管の保温 4 煙試験	(ア)屋内汚水管 ● VP ● RF-VP ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管 (イ)屋内雑排水管 ● VP ● RF-VP ● SGP(白) ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管 (ウ)ポンプ排水管 ● VP(水道用) ● H1VP ● 排水用塩ビライニング鋼管(圧送排水管用継手) (エ)通気管 ● VP ● RF-VP ● SGP(白) ● 排水用塩ビライニング鋼管 (オ)屋外排水管 ● VP ● RF-VP ● VU(地中) ● REP-VU(地中) ● RS-VU ● 卵形管 ● コンクリート管 3階以上にわたる排水管立て管に満水試験継手を ※ 取付ける ● 取付けない ※ 施工する ● 施工しない ※ 行わなくてもよい ● 図示の系統のみ行う																																																		
9 給湯設備	1 配管材料 2 弁類	● SGP-HVA ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管 ● 保温付被覆鋼管 ● 鋼管 湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。 ※ 5K ● 10K																																																		
10 消火設備	1 配管材料 2 弁類 3 保温 4 屋内消火栓 5 ガス系消火剤の種類 6 ガス系消火の起動方式	(ア)一般配管 ● SGP(白) ● STPG (イ)土間下配管 ● SGP-VS ● STPG-VS (ウ)地中配管 ● SGP-VS ● STPG-VS ※ 10K ● 16K (ア)呼水タンク ※ 施工しない ● 施工する (イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する (ウ)配管の保温は次による。(屋外露出箇所は種別e3・(ハ)・VIIによる) ● 屋内消火栓用( ※ 施工しない ● 施工する ) ● スプリンクラー用( ※ 施工しない ● 施工する ) ● 連結送水用( ※ 施工しない ● 施工する ) ● 連結放水用 ( ※ 施工しない ● 施工する ) ● 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓 ( ● 1号 ● 2号 ) ● 窒素 ● IG-541 ● IG-55 ● HFC-227ea ● HFC-23 ※ 手動 ● 自動手動切替式																																																		
11 ガス設備	1 都市ガス設備 2 配管材料 3 ガスメータ 4 バルク貯槽 5 容器廻りの配管 6 容器転倒防止 7 ガス漏れ警報器	都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。 (ア)一般配管 ※ SGP(白) ● 合成樹脂被覆鋼管 (イ)土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管 (ウ)地中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● 親メーター ※ 借用 ● 買収 (取付け ● 別途 ● 本工事 ) ● 子メーター ※ 買収 ● 借用 (取付け ● 本工事 ● 別途 ) ● 縦型 ● 横型 ● 借用 ● 買収 ● 標準図(施工73)の ● 要領(a) ● 要領(b) ● 要領(c) ● 標準図(施工74)の ● 要領(a) ● 要領(b) ● 不要 ● 要( ※ 別途工事 ● 本工事 )																																																		
12 浄化槽設備	1 処理種別及び方式 2 型式 3 処理能力 4 放流水の水質 5 排水方式 6 埋戻し土 7 土留め工事 8 マンホールふた 9 消毒薬	● 小規模合併処理 ( ● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気床接触ばっ気方式 ● 脱窒ろ床接触ばっ気方式 ) ● その他性能評価を受けた方式 ( ) ● 合併処理 ( ● 接触ばっ気方式 ● 長時間ばっ気方式 ● 回転板接触方式 ) ● ユニット型 ● 現場施工型 ● 処理対象人員 人 ● 処理水量 m <sup>3</sup> /d ● 流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 20mg/L以下 ● T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下 ※ 自然流下 ● ポンプ排水 ● 砂 ● 根切土の中の良質土 ● 不要 ● 要(図示による) ※ 製造者標準仕様(ロック式) ● MHA型(ボルト式) 3ヶ月相当分を納入する。																																																		
承認	管理技術者	担当	作図	縮尺 NS	工事名称 鳥取県立武道館給排気ファン更新工事	図面番号 M-02																																														
田村	板倉	板倉	板倉	設計年月日 2026.02	図面名称 機械設備工事特記仕様書(2)	16																																														

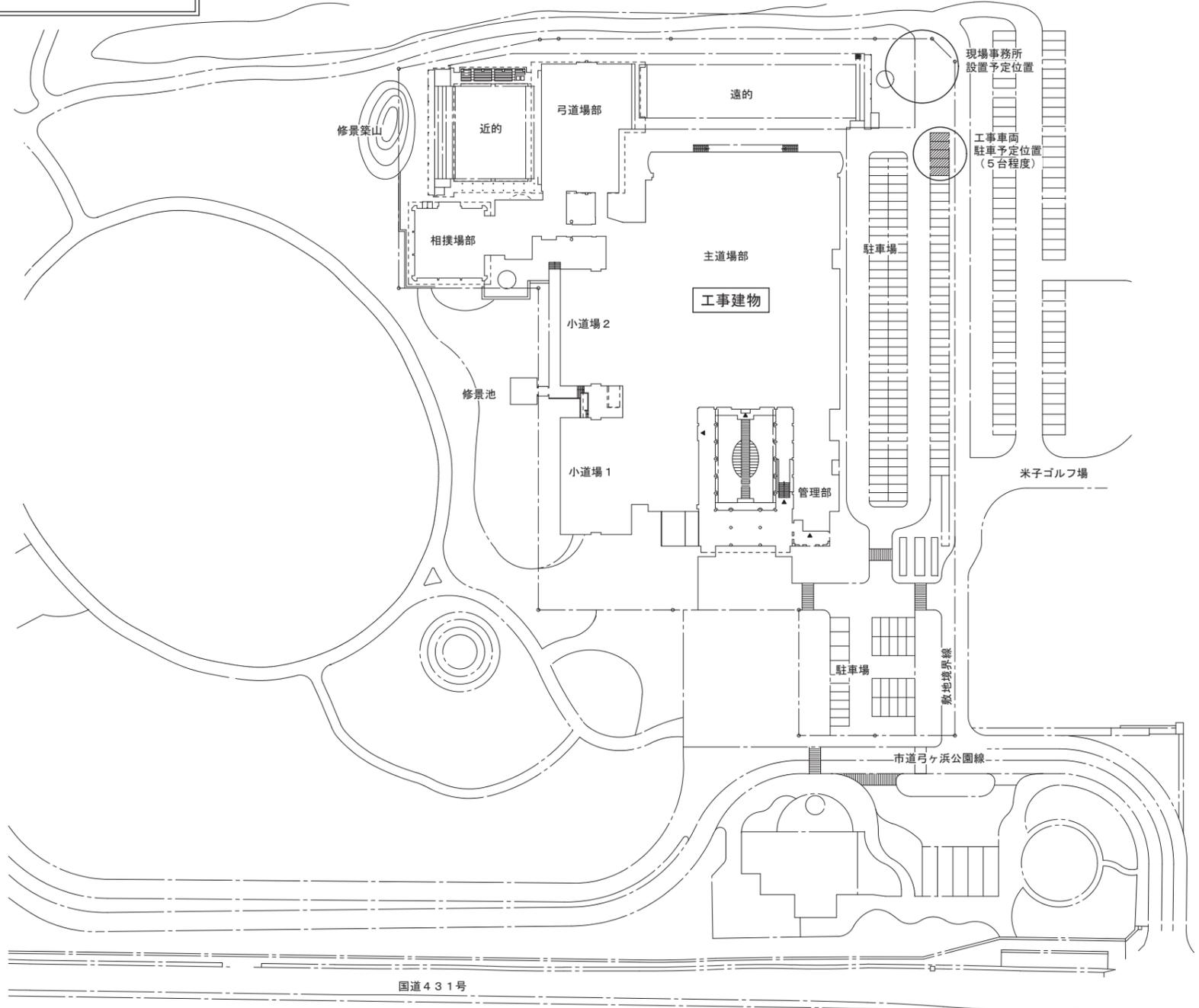


一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号  
管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号  
建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号



付近見取図

- ### 工事概要
- 県立武道館の給排気ファン機器の更新。
- ・1階用具庫(1)排気ファン(EF-1・3)更新
  - ・1階空調機械室(1)排気ファン(EF-3)更新
  - ・1階空調機械室(2)給排気ファン(SF-2・EF-2)更新
  - ・2階空調機械室(4)排気ファン(RF-1・2)更新
  - ・2階空調機械室(5)給気ファン(SF-1)更新
  - ・2階電気室給排気ファン(SF-4・EF-16・17・19)更新
  - ・1階用具庫(1)の天井解体復旧
  - ・上記に伴うダクト、配管の取外し再取付
  - ・上記に伴う電気設備の取外し再取付



配置図 S=1/1000

概略工事工程表 (参考)

※この工程は概略であり、施設・監督員と十分に協議の上、実施施工工程表を作成し、承認を得て行う事。

場所	記号	令和8年												令和9年					
		5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月									
		契約	調査	機器承認	機器製作期間(100日)										検査・引渡し				
												外足場組立	外足場撤去						
用具庫(1)	EF-1											検査							
	EF-3											施工							
空調機械室(1)	EF-3											検査							
	EF-3											施工							
空調機械室(2)	SF-2											施工	検査						
	EF-2											施工	検査						
空調機械室(4)	RF-1											施工	検査						
	RF-2											施工	検査						
空調機械室(5)	SF-1											施工	検査						
電気室	SF-4											検査							
	EF-16											施工							
	EF-17											施工							
	EF-19											施工							



機器表 (改修後)

記号	名称	系統名称	機器仕様	消費電力(参考)	数量	備考
EF 1	排気ファン (更新)	1階ELV機械室	天吊形ラインファン#3	3φ×200V	1	設置場所: 1階用具庫(1)  参考品番: ALF-NO. 3-645
			1200m3/h×200Pa	0.45kW		
			防振ハンガー他付属品共			
			SF-1と連動			
EF 2	排気ファン (更新)	1階空調機械室(2)	天吊形ラインファン#3	3φ×200V	1	設置場所: 1階空調機械室(2)  参考品番: ALF-NO. 3-645
			2000m3/h×180Pa	0.45kW		
			防振ハンガー他付属品共			
			SF-2と連動			
EF 3	排気ファン (更新)	1階喫煙コーナー 1階床下ビット	天吊形ラインファン#3	3φ×200V	2	設置場所: 1階用具庫(1) 1階空調機械室(1)  参考品番: ALF-NO. 3-645
			1080m3/h×210Pa	0.45kW		
			防振ハンガー他付属品共			
EF 16	排気ファン (更新)	2階電気室	天吊形ラインファン#3	3φ×200V	1	設置場所: 2階電気室  参考品番: ALF-NO. 3-615
			550m3/h×170Pa	0.15kW		
			防振ハンガー他付属品共			
			SF-4と連動			
EF 17	排気ファン (更新)	2階発電機室	天吊形ラインファン#3	3φ×200V	1	設置場所: 2階電気室  参考品番: ALF-NO. 3-645
			310m3/h×240Pa	0.45kW		
			防振ハンガー他付属品共			
EF 19	排気ファン (更新)	発電機用排気	天吊カゴ形耐熱ベルト駆動ラインファン700φ	3φ×200V	1	設置場所: 2階電気室  参考品番: ALF-2P-70-NI
			19800m3/h×310Pa	5.5kW		
			防振架台他付属品共			
			内部密閉式 耐熱80℃ 発電機と連動			
RF 1	排気ファン (更新)	1階小道場(1)	消音BOX付ラインファン#4	3φ×200V	1	設置場所: 2階空調機械室(4)  参考品番: ALF-U2-NO. 4-6160
			5500m3/h×200Pa	1.6kW		
			防振ハンガー他付属品共			
RF 2	排気ファン (更新)	1階小道場(2)	消音BOX付ラインファン#4	3φ×200V	1	設置場所: 2階空調機械室(4)  参考品番: ALF-U2-NO. 4-6160
			5500m3/h×200Pa	1.6kW		
			防振ハンガー他付属品共			
SF 1	給気ファン (更新)	1階ELV機械室	床置形ベルト駆動ラインファン400φ	3φ×200V	1	設置場所: 2階空調機械室(5)  参考品番: ALF-2P-40-ND
			1200m3/h×620Pa	1.5kW		
			防振架台他付属品共			
			EF-1と連動			
SF 2	給気ファン (更新)	1階空調機械室(2)	天吊カゴ形ベルト駆動ラインファン400φ	3φ×200V	1	設置場所: 1階空調機械室(2)  参考品番: ALF-2P-40-NI
			2000m3/h×570Pa	1.5kW		
			防振ハンガー他付属品共			
			EF-2と連動			
SF 4	給気ファン (更新)	2階電気室	天吊カゴ形ベルト駆動ラインファン400φ	3φ×200V	1	設置場所: 2階電気室  参考品番: ALF-2P-40-NI
			510m3/h×580Pa	1.5kW		
			防振架台他付属品共			
			EF-16と連動			

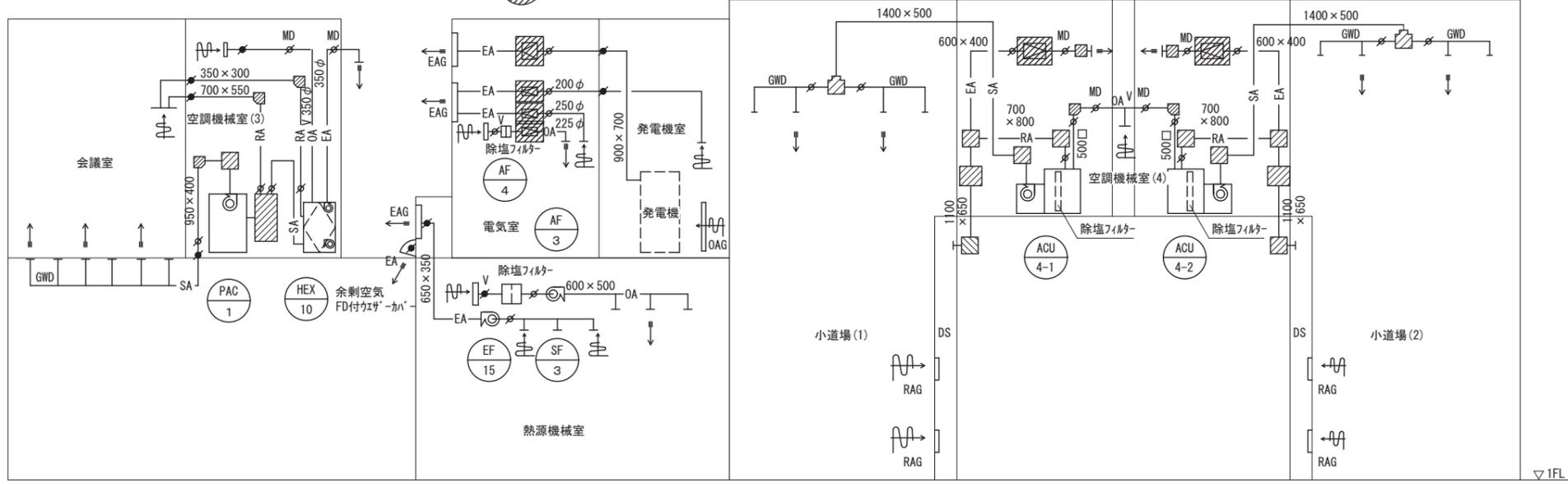
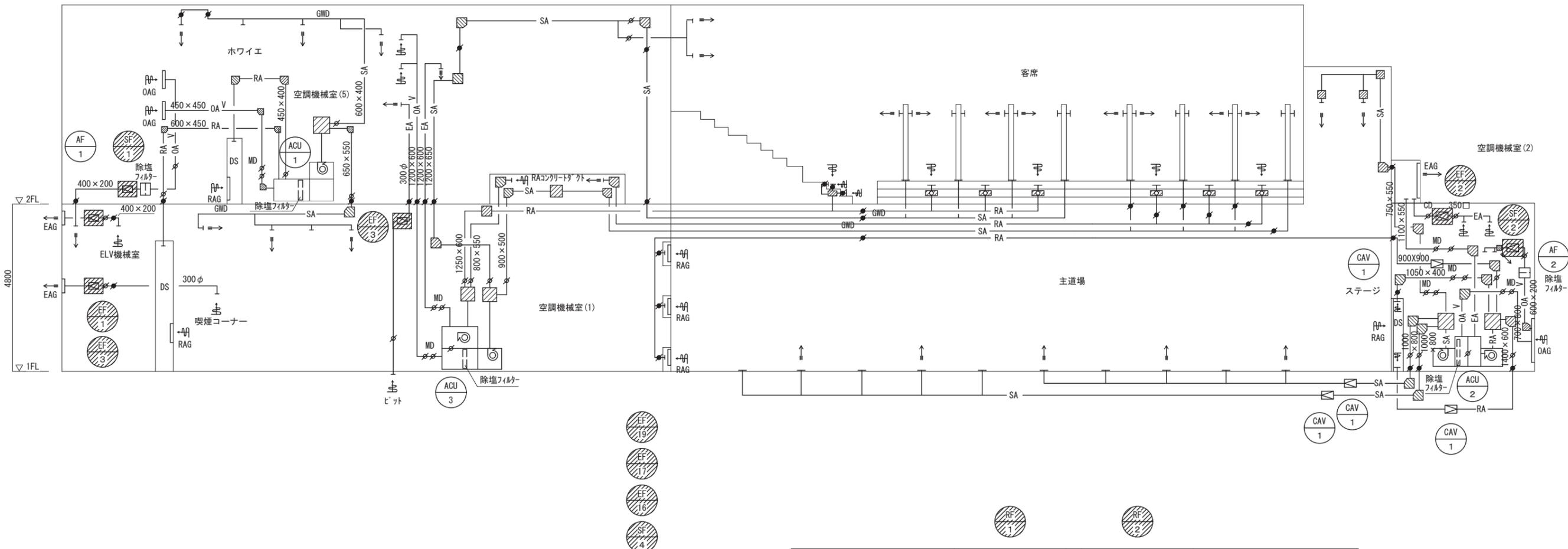
注記  
 ※ 機器の電源接続(配線配管共)は電気工事とする。  
 ※ 図中の電気容量は、機器を特定するものではなく参考値とする。  
 ※ 給排気ファンの採用メーカーによりダクトサイズなど変更が必要となった場合は施工者負担で対応する。  
 ※ 改修後に他の機器との連動運転を確認する。  
 ※ 換気ファンの電動機出力は、JIS B 8330に規定された定格条件による。

機器表 (改修前)

記号	名称	系統名称	機器仕様	消費電力	数量	備考
EF 1	排気ファン (撤去)	1階ELV機械室	天吊形ラインファン#3	3φ×200V	1	設置場所: 1階用具庫(1)  品番: ALF-NO. 3-615
			1200m3/h×200Pa	0.15kW		
			SF-1と連動			
EF 2	排気ファン (撤去)	1階空調機械室(2)	天吊形ラインファン#3	3φ×200V	1	設置場所: 1階空調機械室(2)  品番: ALF-NO. 3-645
			2000m3/h×180Pa	0.45kW		
			SF-2と連動			
EF 3	排気ファン (撤去)	1階喫煙コーナー 1階床下ビット	天吊形ラインファン#3	3φ×200V	2	設置場所: 1階用具庫(1) 1階空調機械室(1)  品番: ALF-NO. 3-645
			1080m3/h×210Pa	0.45kW		
EF 16	排気ファン (撤去)	2階電気室	天吊形ラインファン#3	3φ×200V	1	設置場所: 2階電気室  品番: ALF-NO. 3-615
			550m3/h×170Pa	0.15kW		
			SF-4と連動			
EF 17	排気ファン (撤去)	2階発電機室	天吊形ラインファン#3	3φ×200V	1	設置場所: 2階電気室  品番: ALF-NO. 3-615
			310m3/h×240Pa	0.15kW		
EF 19	排気ファン (撤去)	発電機用排気	天吊カゴ形耐熱ベルト駆動ラインファン700φ	3φ×200V	1	設置場所: 2階電気室  品番: ALF-2P-70-NI
			19800m3/h×310Pa	5.5kW		
			内部密閉式 耐熱80℃ 発電機と連動			
RF 1	排気ファン (撤去)	1階小道場(1)	消音BOX付ラインファン#4	3φ×200V	1	設置場所: 2階空調機械室(4)  品番: ALF-U2-NO. 4-6160
			5500m3/h×200Pa	1.6kW		
RF 2	排気ファン (撤去)	1階小道場(2)	消音BOX付ラインファン#4	3φ×200V	1	設置場所: 2階空調機械室(4)  品番: ALF-U2-NO. 4-6160
			5500m3/h×200Pa	1.6kW		
SF 1	給気ファン (撤去)	1階ELV機械室	床置形ベルト駆動ラインファン400φ	3φ×200V	1	設置場所: 2階空調機械室(5)  品番: ALF-2P-40-ND
			1200m3/h×620Pa	1.5kW		
			EF-1と連動			
SF 2	給気ファン (撤去)	1階空調機械室(2)	天吊カゴ形ベルト駆動ラインファン400φ	3φ×200V	1	設置場所: 1階空調機械室(2)  品番: ALF-2P-40-NI
			2000m3/h×570Pa	1.5kW		
			EF-2と連動			
SF 4	給気ファン (撤去)	2階電気室	天吊カゴ形ベルト駆動ラインファン400φ	3φ×200V	1	設置場所: 2階電気室  品番: ALF-2P-40-NI
			510m3/h×580Pa	1.5kW		
			EF-16と連動			

注記  
 ※ 機器の電源切り離し(配線配管共)は電気工事とする。  
 ※ 改修前に他の機器との連動運転を確認する。



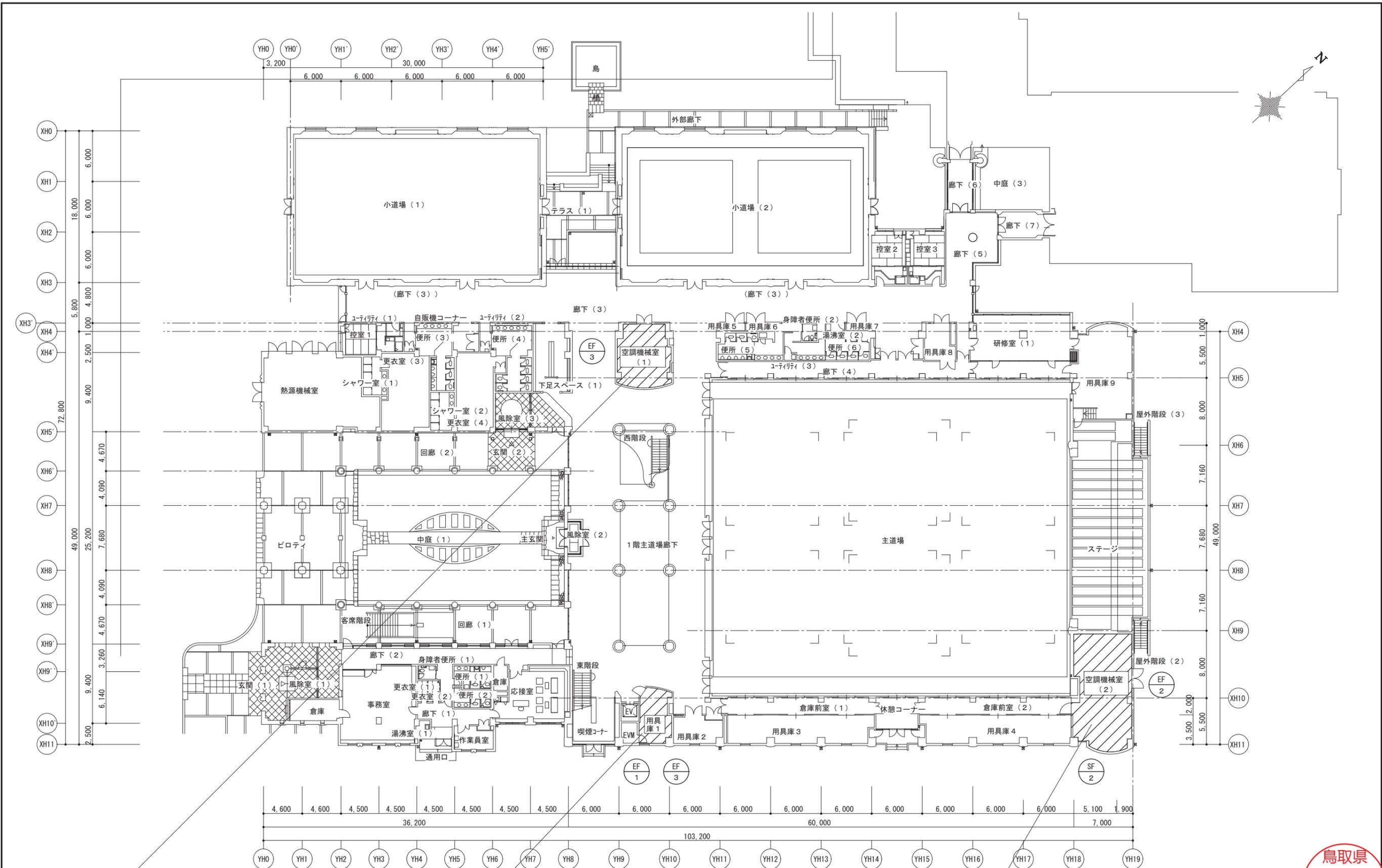


**特記事項**  
 ※ 更新機器を示す

凡例

記号	名称
	VD
	FVD





排気ファン更新  
※詳細は別図(M-09)参照

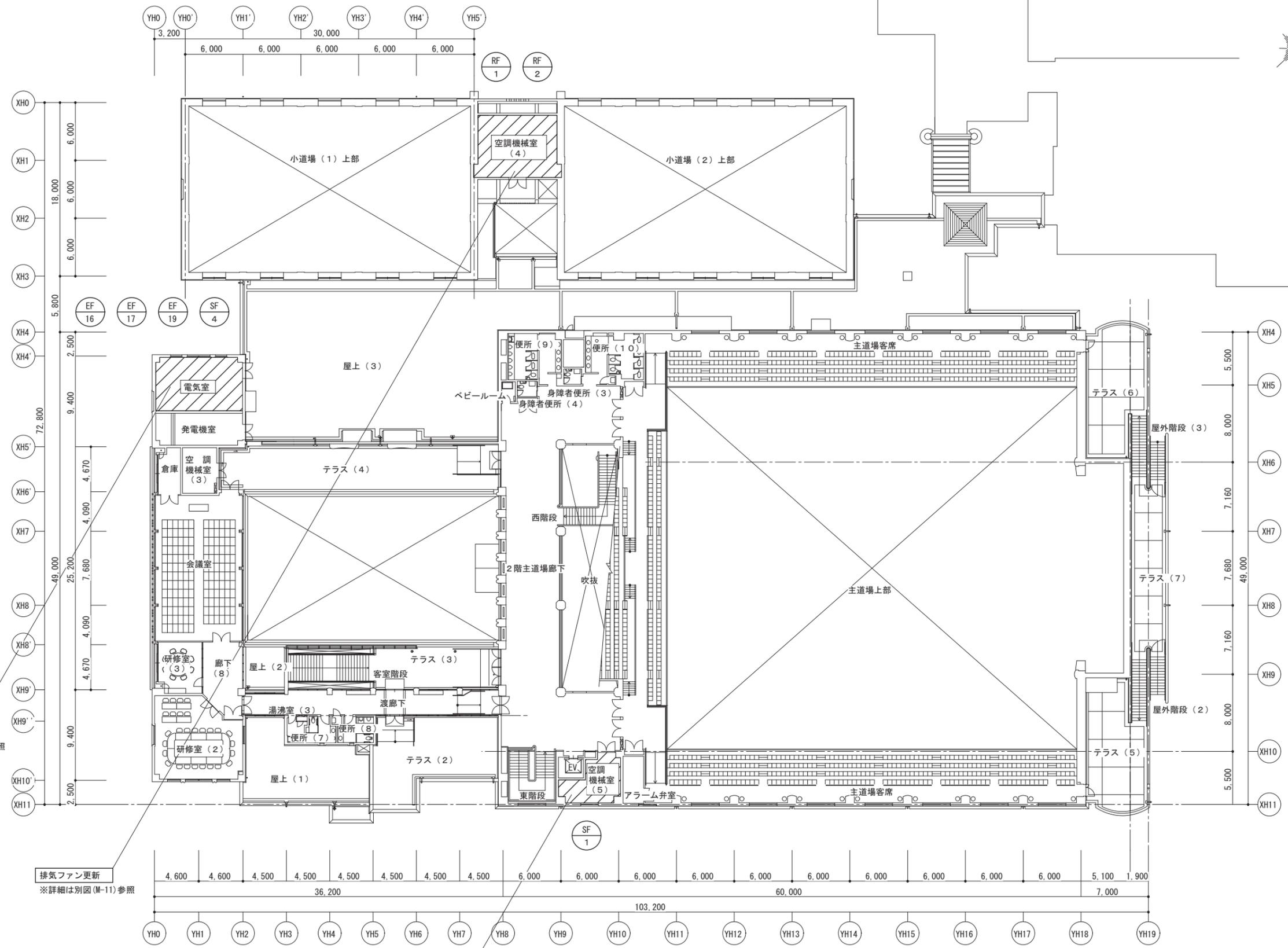
排気ファン更新  
※詳細は別図(M-08)参照

1階平面図 S=1/300

排気ファン更新  
給気ファン更新  
※詳細は別図(M-10)参照



一級建築士事務所／建築設備設計事務所 <b>X.PLAN</b> Mechanical/Electrical Engineers	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	1/300 (A2)	工事名称	鳥取県立武道館給排気ファン更新工事	図面番号	M-06
		田村	板倉	板倉	板倉	設計年月日	2026.02	図面名称	機械設備工事 1階平面図	16	



排気ファン更新  
給気ファン更新  
※詳細は別図(M-13)参照

排気ファン更新  
※詳細は別図(M-11)参照

給気ファン更新  
※詳細は別図(M-12)参照

2階平面図 S=1/300



一級建築士事務所／建築設備設計事務所  
Mechanical/Electrical Engineers  
**X.PLAN**

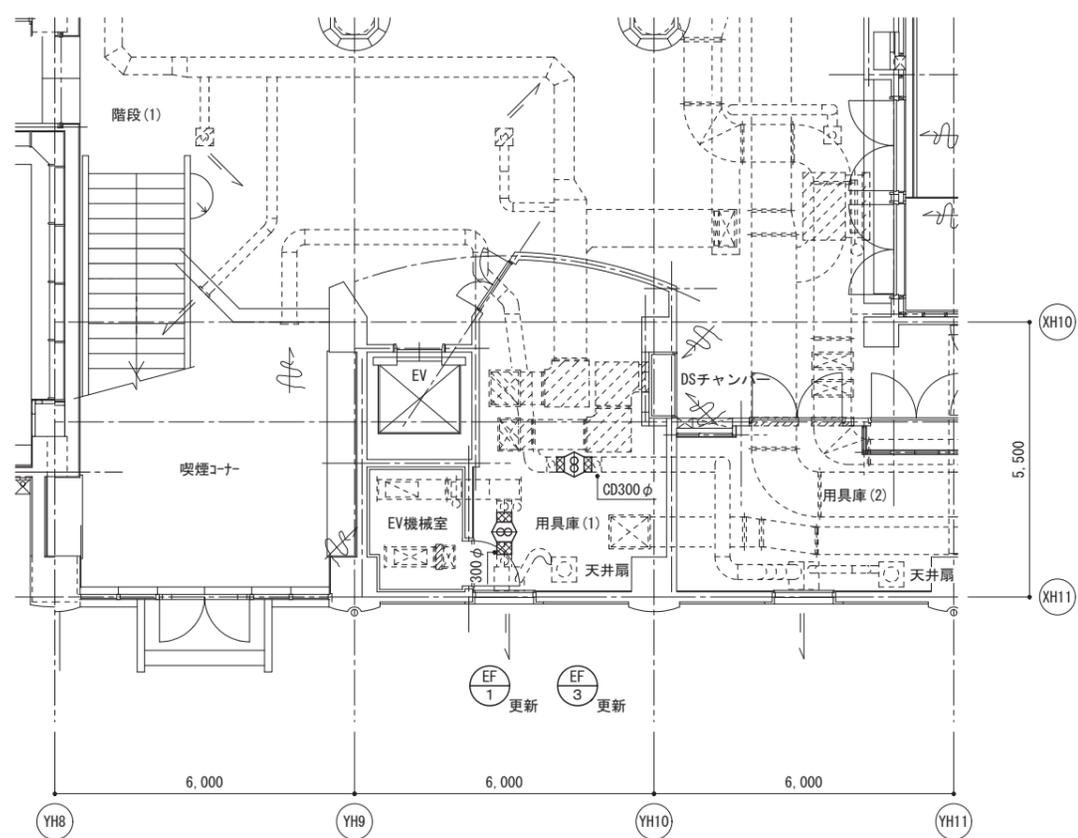
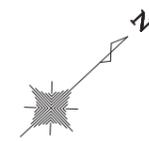
一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号  
管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号  
建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図
田村	板倉	板倉	板倉

縮尺 1/300 (A2)  
設計年月日 2026. 02

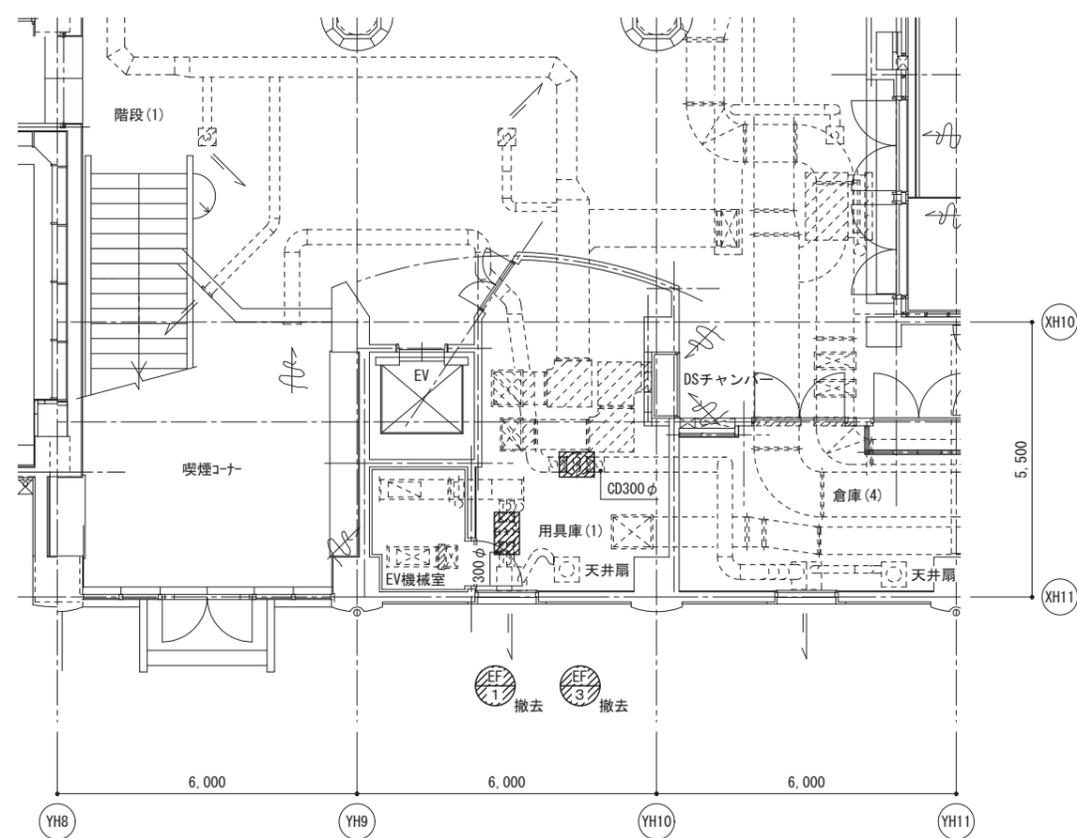
工事名称 鳥取県立武道館給排気ファン更新工事  
図面名称 機械設備工事 2階平面図

図面番号 M-07 / 16



1階用具庫(1)ダクト平面図(改修後) S=1/100

← 改修



1階用具庫(1)ダクト平面図(改修前) S=1/100

特記事項

- ※図中の太線は改修対象機器及びダクト・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
- ※ファンの更新を行う際、たわみ継手も更新を行う。
- ※ 撤去を示す



一級建築士事務所／建築設備設計事務所  
**X.PLAN**  
 Mechanical/Electrical Engineers

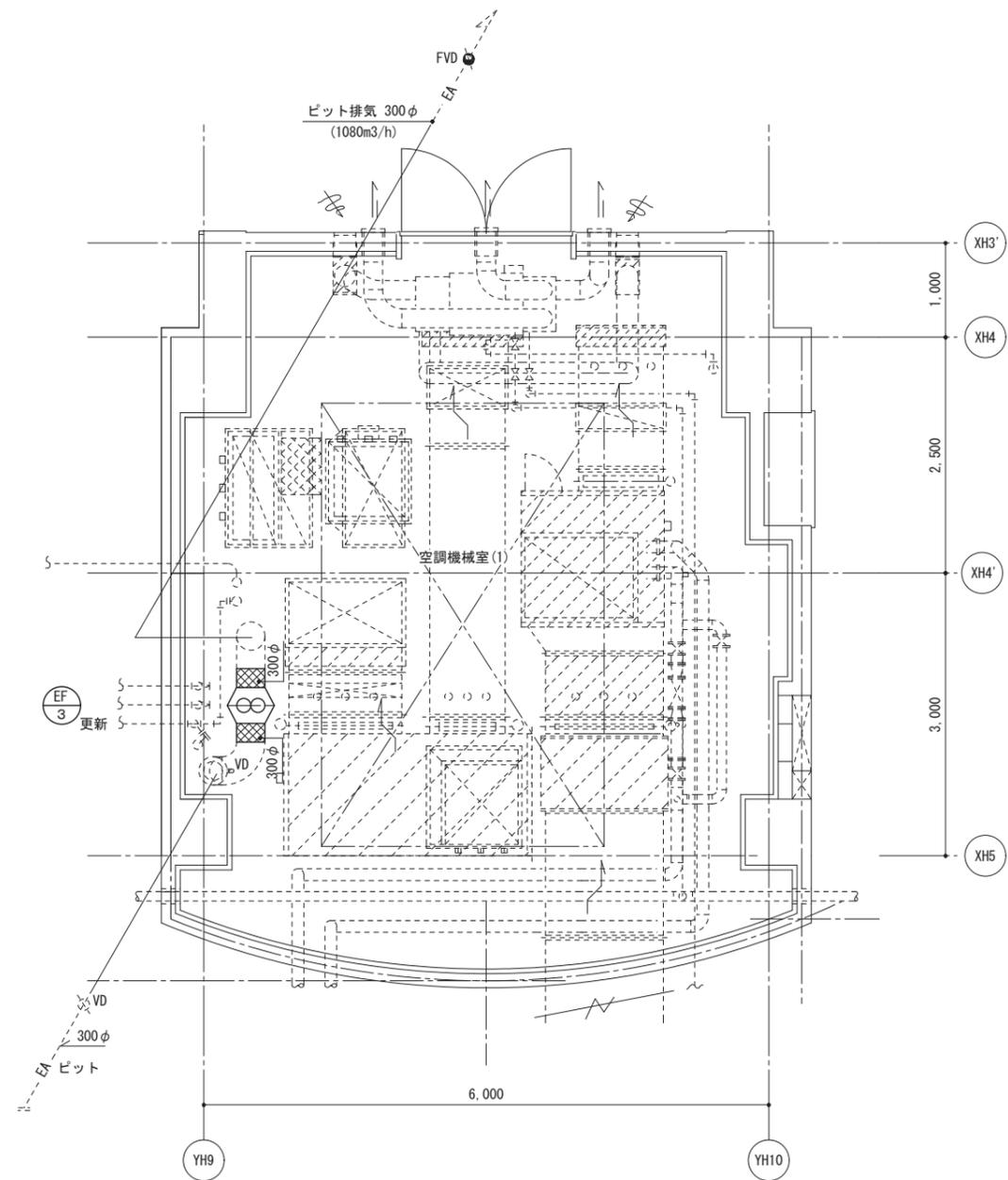
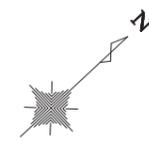
一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号  
 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号  
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図
田村	板倉	板倉	板倉

縮尺 S=1/100 (A2)  
 設計年月日 2026. 02

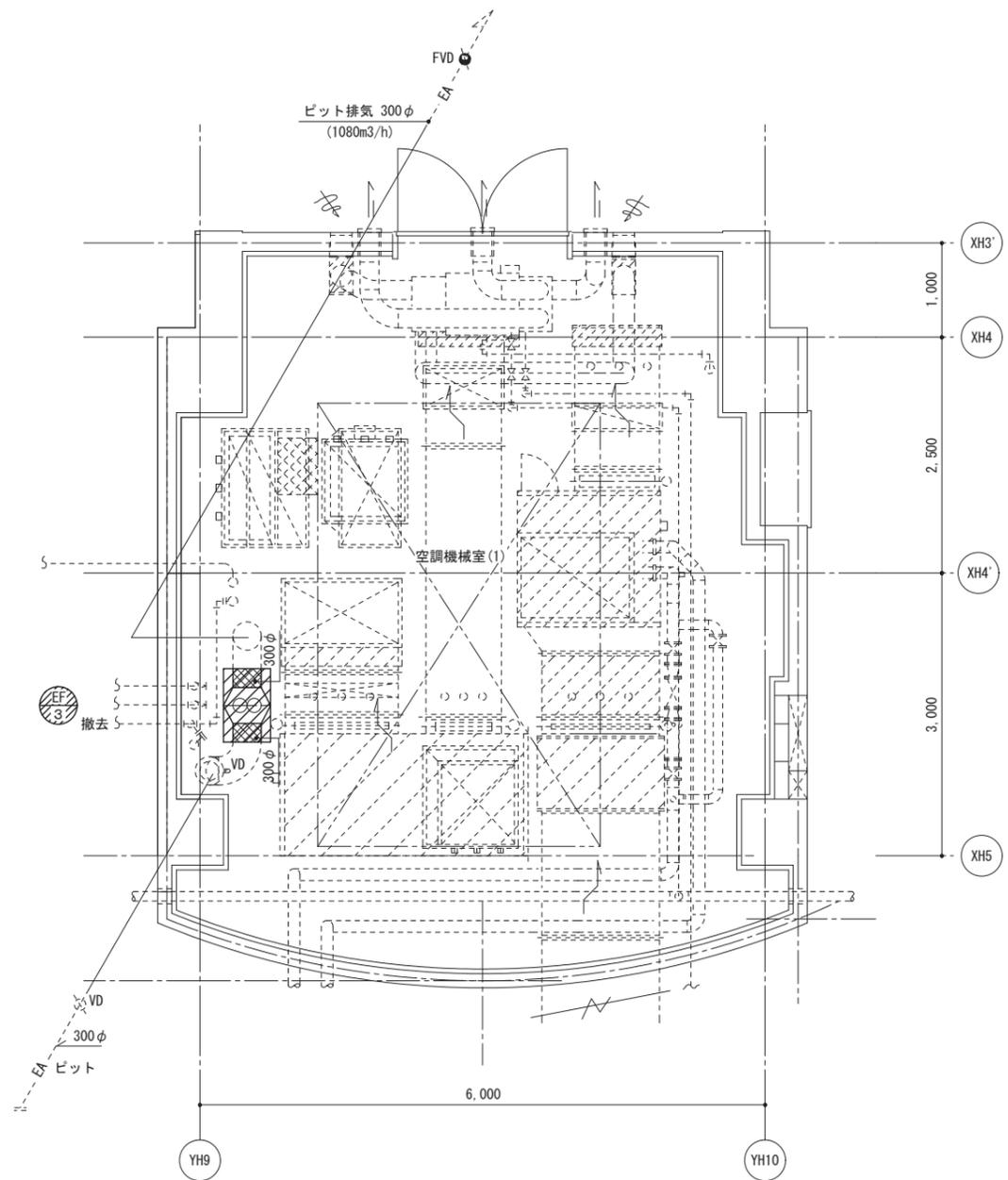
工事名称 鳥取県立武道館給排気ラインファン更新工事  
 図面名称 機械設備工事 1階用具庫(1)ダクト平面図(改修後・改修前)

図面番号 M-08 / 16



1階空調機械室(1)ダクト平面図(改修後) S=1/50

← 改修



1階空調機械室(1)ダクト平面図(改修前) S=1/50

特記事項

- ※図中の太線は改修対象機器及びダクト・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
- ※ファンの更新を行う際、たわみ継手も更新を行う。
- ※空調機はビニルシート等で養生を行う。
- ※ 撤去を示す



一級建築士事務所／建築設備設計事務所  
 X.PLAN  
 Mechanical/Electrical Engineers

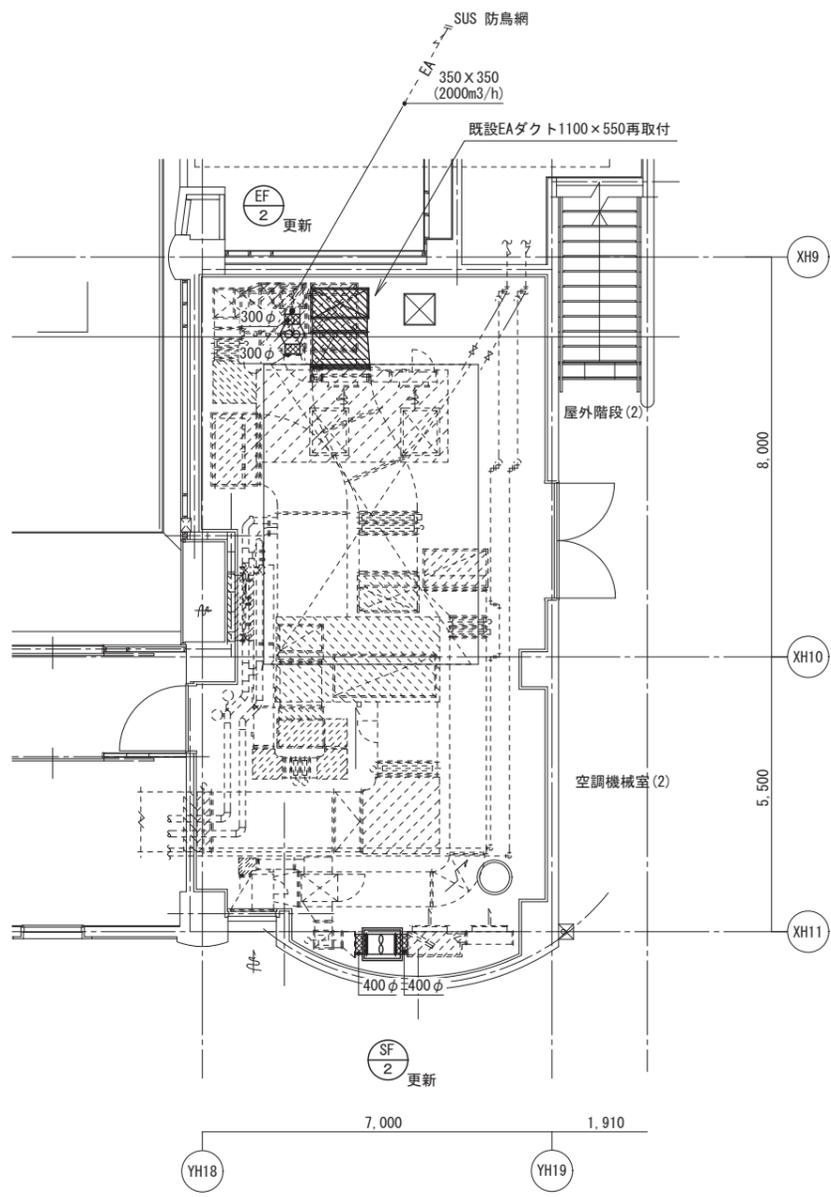
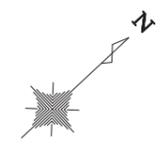
一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号  
 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号  
 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図
田村	板倉	板倉	板倉

縮尺 S=1/50 (A2)  
 設計年月日 2026. 02

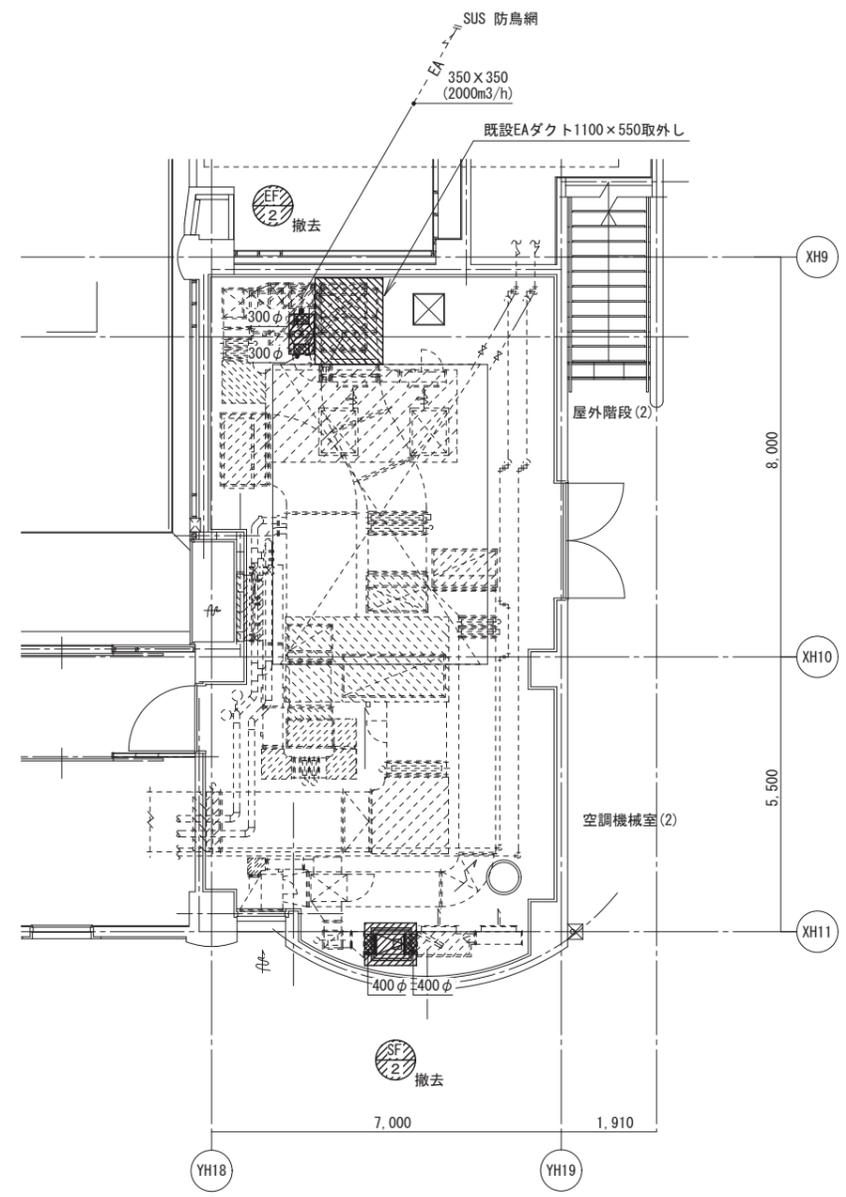
工事名称 鳥取県立武道館給排気ラインファン更新工事  
 図面名称 機械設備工事 1階空調機械室(1)ダクト平面図(改修後・改修前)

図面番号 M-09 / 16



1階空調機械室(2)平面図(改修後) S=1/100

← 改修



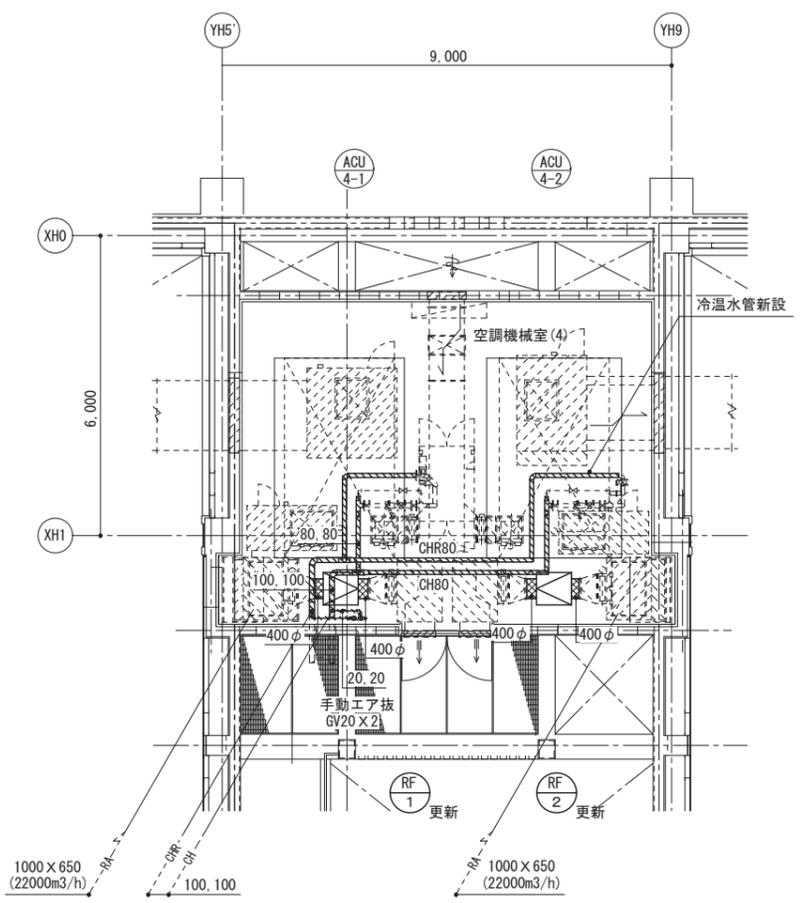
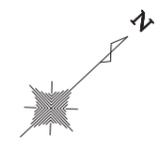
1階空調機械室(2)平面図(改修前) S=1/100

特記事項

- ※図中の太線は改修対象機器及びダクト・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
- ※ファンの更新を行う際、たわみ継手も更新を行う。
- ※EF-2のファン取替に支障となるダクトの取外し・再取付を行う。
- ※空調機はビニルシート等で養生を行う。
- ※ 撤去を示す
- ※ 取外し再取付を示す

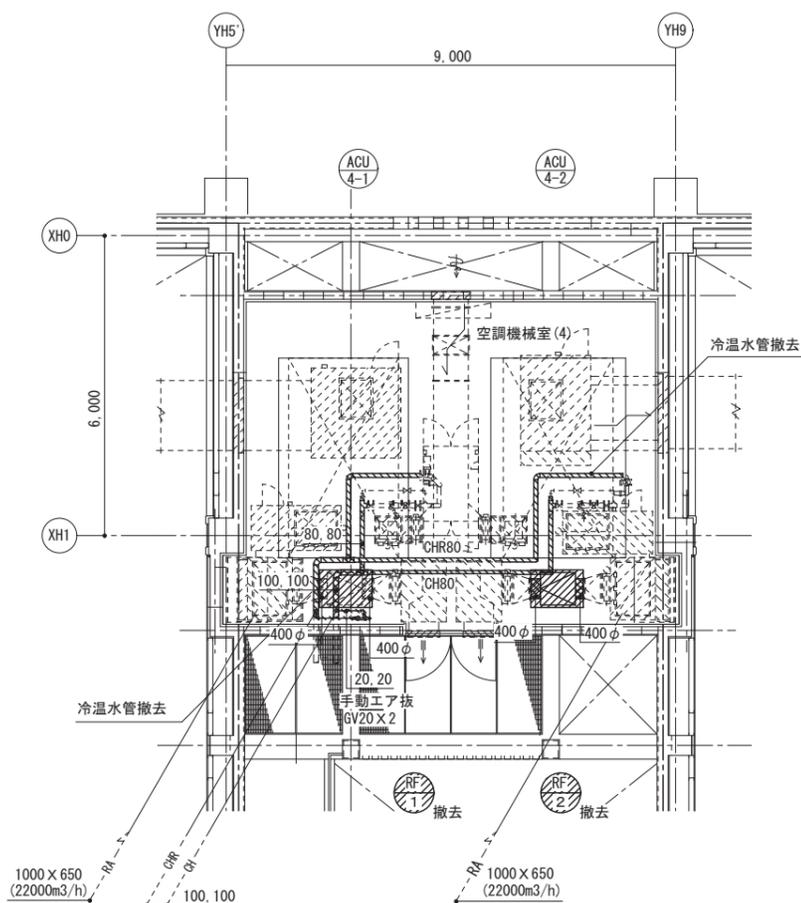


一級建築士事務所／建築設備設計事務所 	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	工事名称	図面番号
						S=1/100 (A2) 設計年月日 2026. 02	鳥取県立武道館給排気ラインファン更新工事 機械設備工事 1階空調機械室(2)平面図(改修後・改修前)	M-10 / 16



2階空調機械室(4)平面図(改修後) S=1/100

← 改修



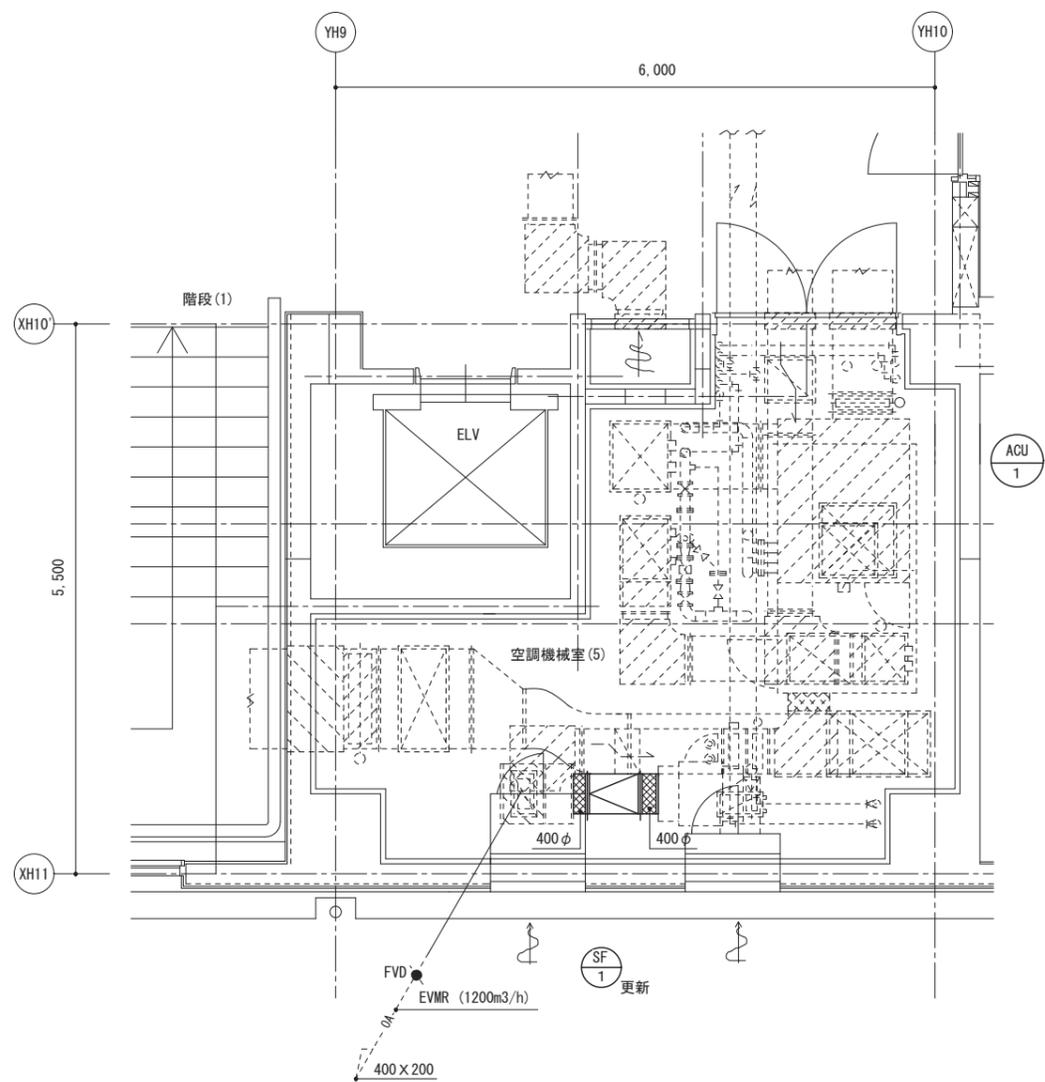
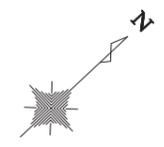
2階空調機械室(4)平面図(改修前) S=1/100

**特記事項**

- ※図中の太線は改修対象機器及びダクト・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
- ※ファン取替に支障となる冷温水管の撤去・新設を行う。
- ※冷温水管の既設管接続は冷用水用ストラップカプリングを使用する。
- ※配管取外し位置の前後には座折防止の為、吊支持金物を取付る。
- ※保温塗装工事の撤去・復旧を行う。
- ※ファンの更新を行う際、たわみ継手も更新を行う。
- ※冷温水管の水抜き、水張り、エア抜き、試運転確認は本工事にて対応する。
- ※空調機はビニルシート等で養生を行う。
- ※ 撤去を示す
- ※ 取外し再取付を示す

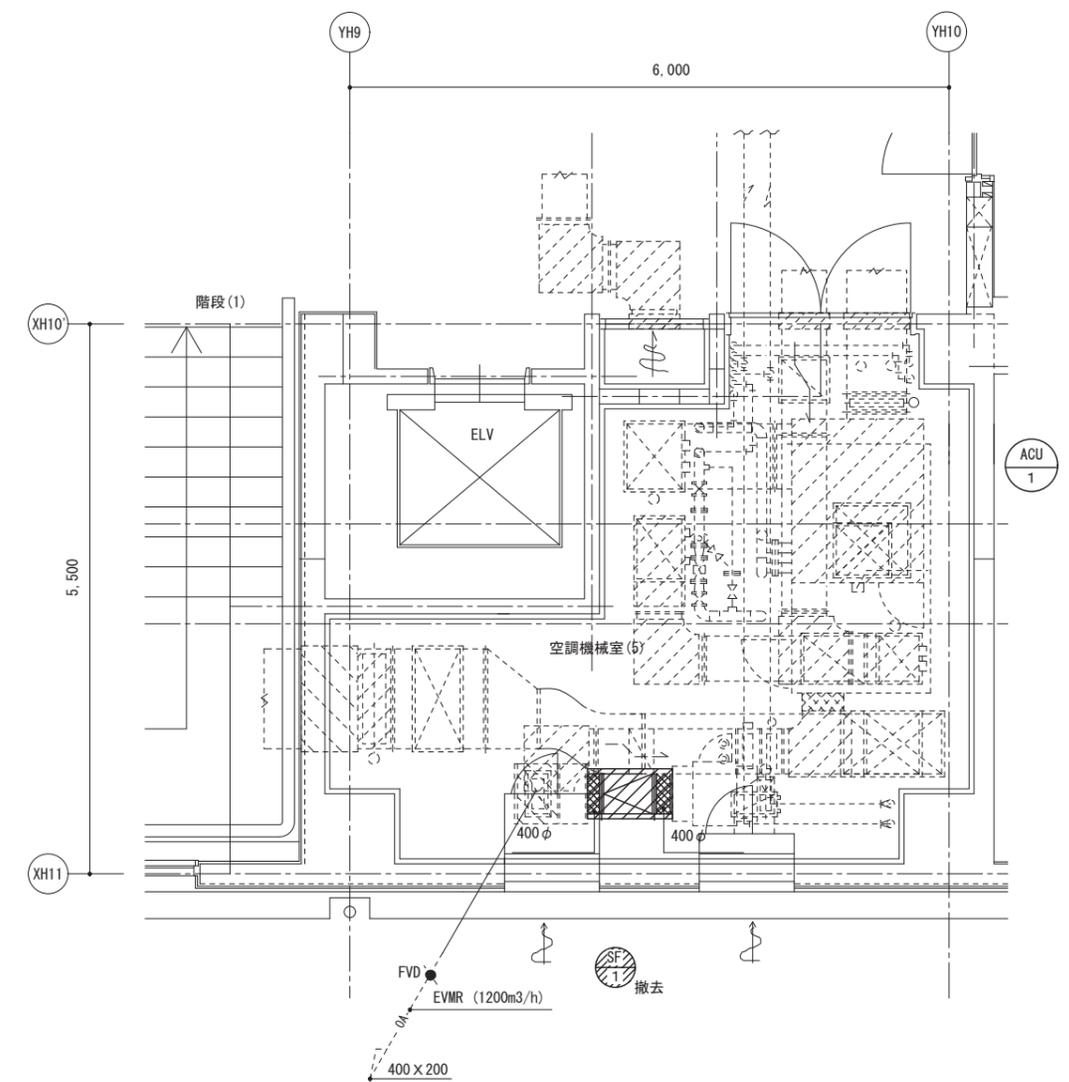


一級建築士事務所／建築設備設計事務所 	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	1/100 (A2)	工事名称	鳥取県立武道館給排気ラインファン更新工事	図面番号 M-11 / 16
						設計年月日 2026.02	図面名称 機械設備工事 2階空調機械室(4)平面図(改修後・改修前)			



2階空調機械室(5)平面図(改修後) S=1/50

改修



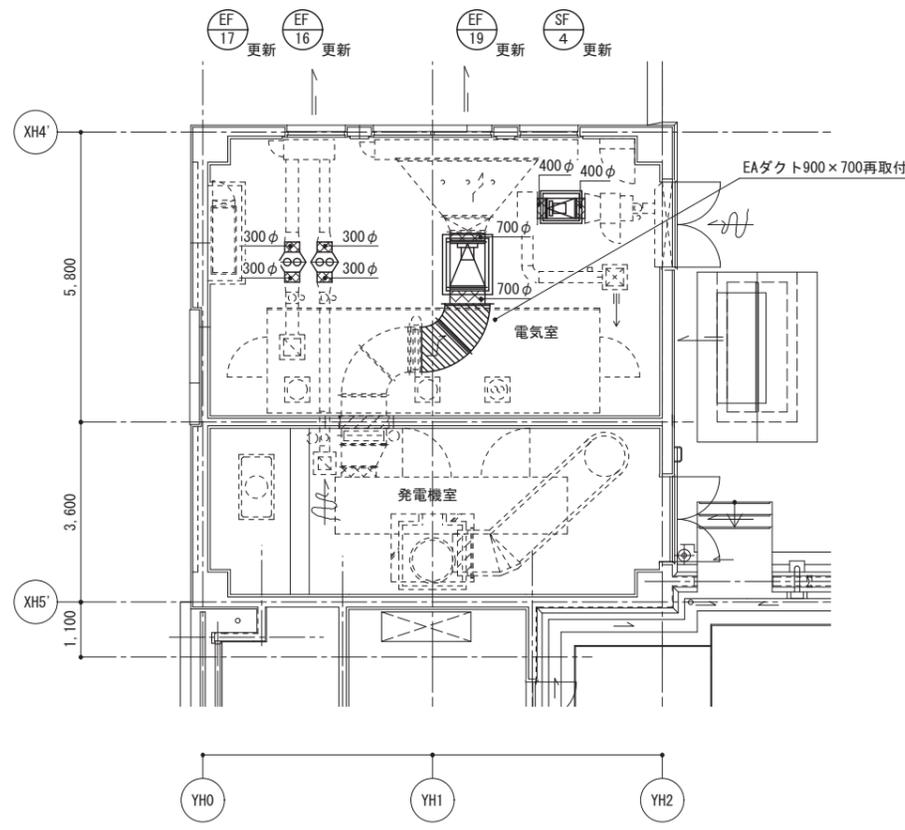
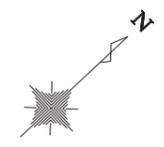
2階空調機械室(5)平面図(改修前) S=1/50

特記事項

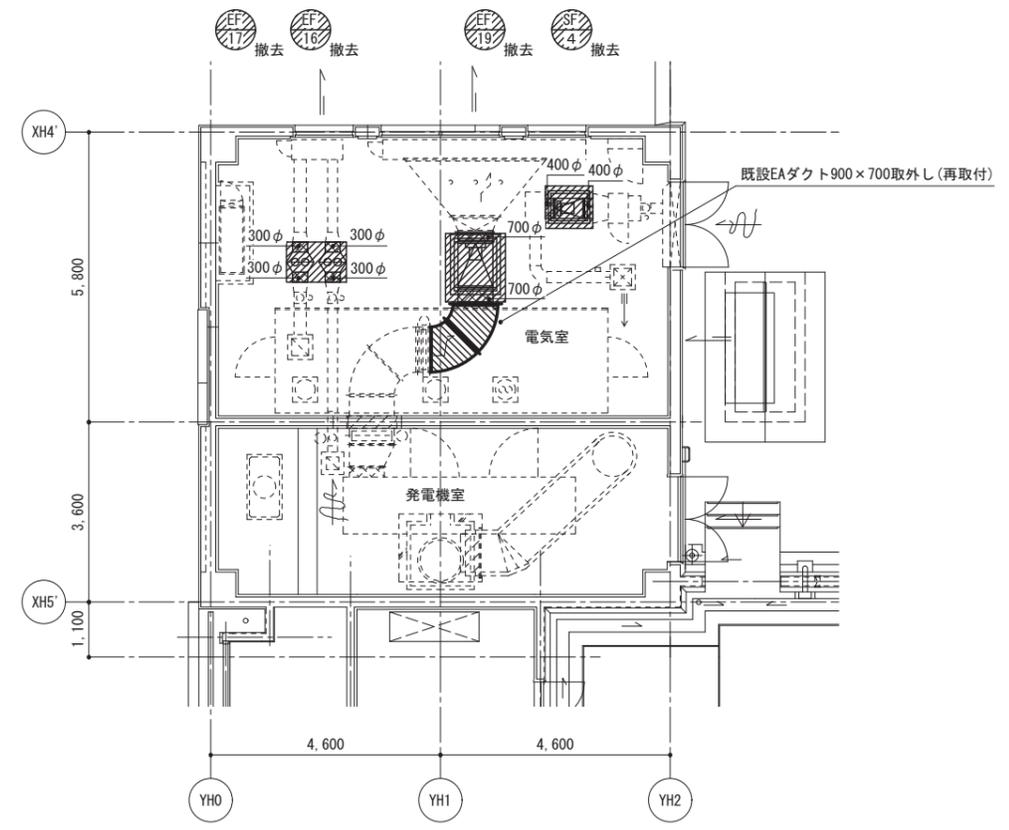
- ※図中の太線は改修対象機器及びダクト・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
- ※ファンの更新を行う際、たわみ継手も更新を行う。
- ※既設RC基礎に設置するアンカーについては全箇所引張試験を実施する。
- ※ 撤去を示す



一級建築士事務所／建築設備設計事務所 	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	1/50 (A2)	工事名称	鳥取県立武道館給排気ラインファン更新工事	図面番号 M-12 / 16
						設計年月日 2026.02	図面名称 機械設備工事 2階空調機械室(5)平面図(改修後・改修前)			



2階電気室平面図（改修後） S=1/100



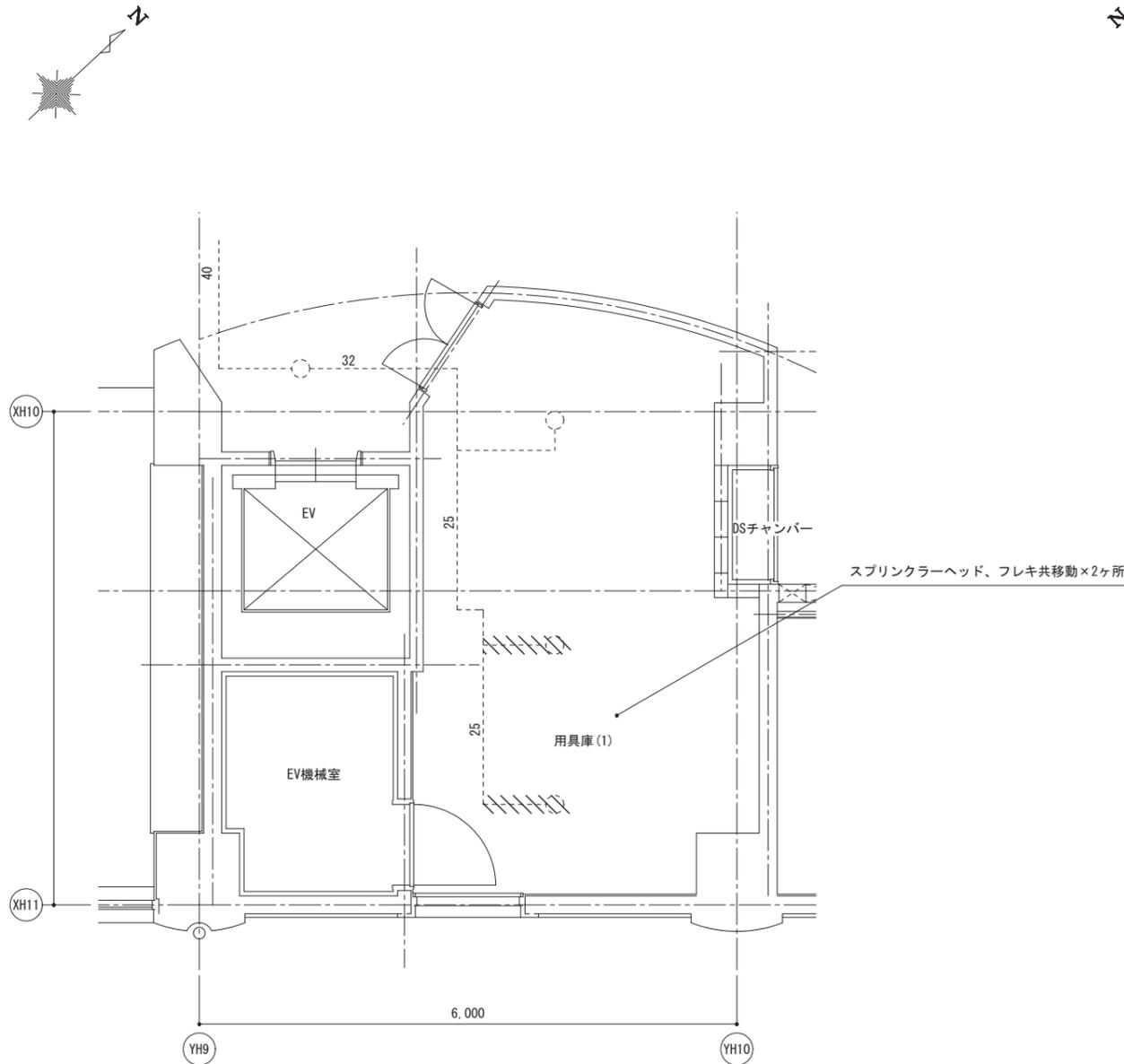
2階電気室平面図（改修前） S=1/100

特記事項

- ※図中の太線は改修対象機器及びダクト・同付属品を示し、細破線は既設を示す。
- ※ファンの更新を行う際、たわみ継手も更新を行う。
- ※EF-19のファン更新に支障となるダクトの取外し・再取付を行う。
- ※受変電設備はビニルシート等で養生を行う。
- ※ 撤去を示す
- ※ 取外し再取付を示す
- ※工事期間中は消火器(ABC10型)を1階事務室に3本、相撲場事務室に3本(計6本)を設置する。
- ※工事を行う際には消防計画書を米子消防署へ提出する。
- ※設置する消火器はリース品とする。



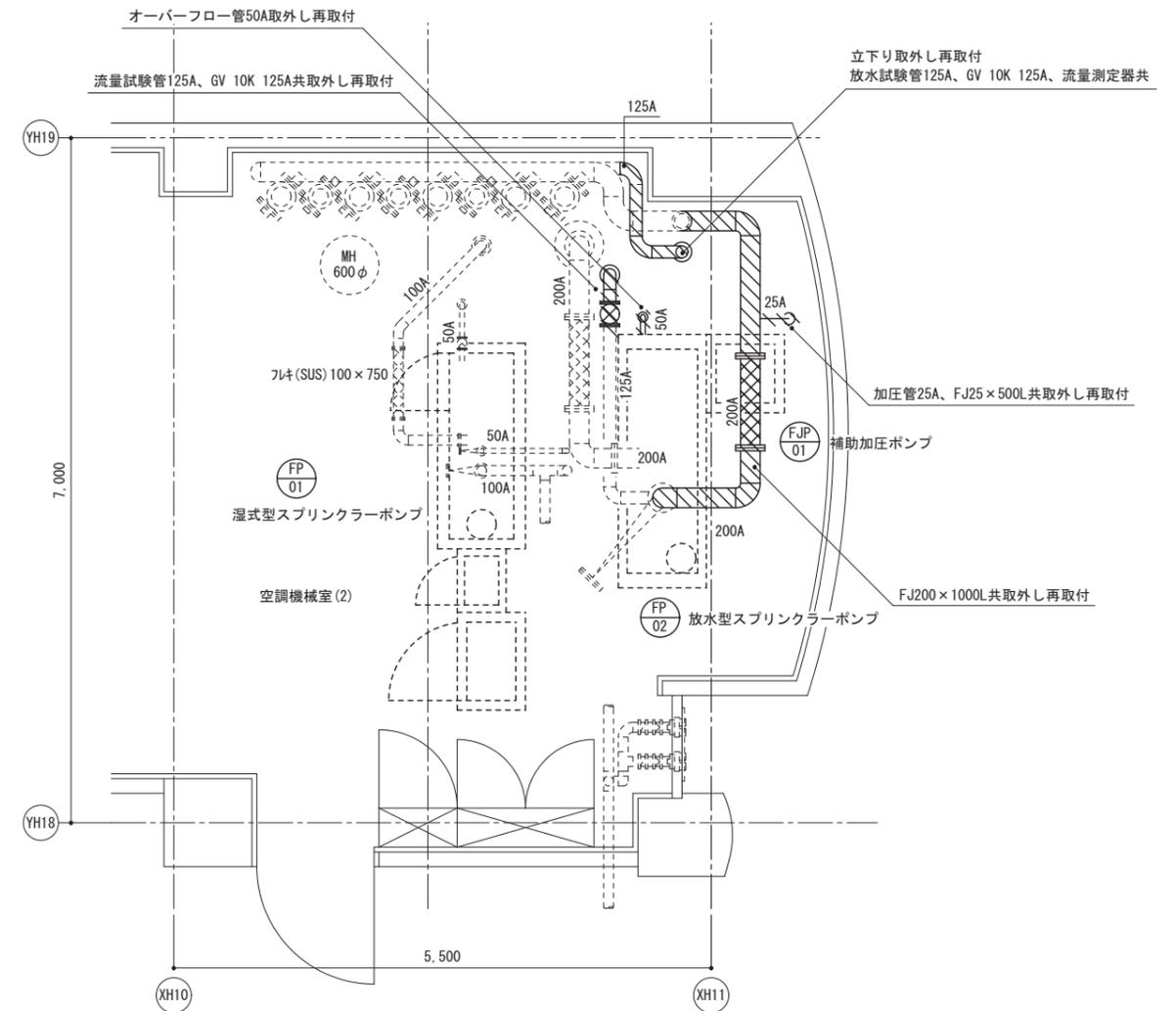
一級建築士事務所／建築設備設計事務所 	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	1/100 (A2)	工事名称	鳥取県立武道館給排気ラインファン更新工事	図面番号 M-13 / 16
		田村	板倉	板倉	板倉	設計年月日 2026.02	図面名称 機械設備工事 2階電気室平面図(改修後・改修前)			



1階用具庫(1)平面図 S=1/50

**特記事項**

- ※EF-1・EF-3のファン取替に支障となる箇中に示すスプリンクラーヘッドの仮移動を行う。
- ※天井撤去復旧に係るスプリンクラーヘッドはスプリンクラーフレキを曲げて天井内へ仮移動する。
- ※ファン更新後スプリンクラーヘッドは天井下地に規定の位置に固定する。
- ※ 取外し再取付を示す
- ※工事期間中は消火器(ABC10型)×1本を設置する。
- ※工事を行う際には消防計画書を米子消防署へ提出する。
- ※設置する消火器はリース品とする。



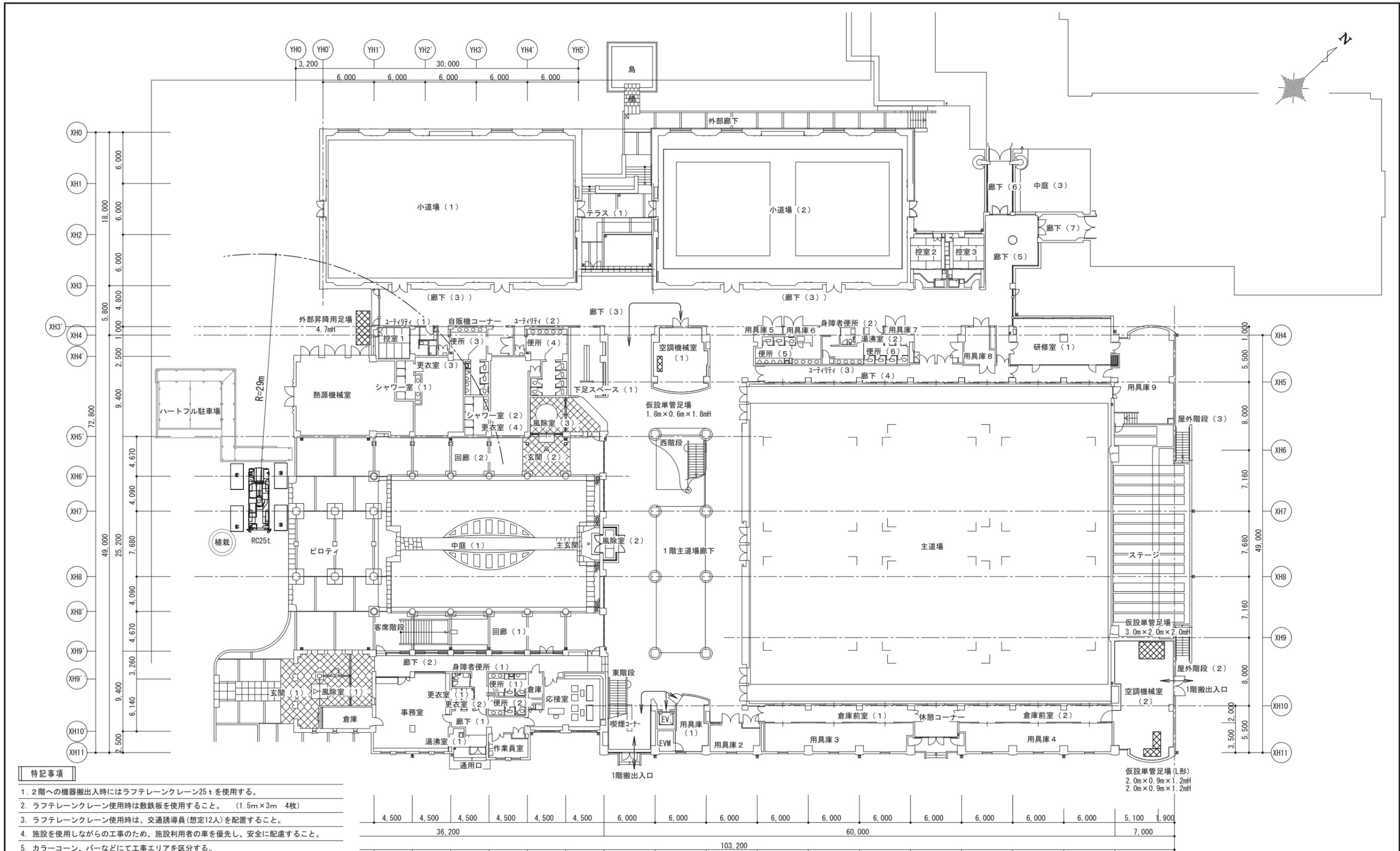
1階空調機械室(2)平面図 S=1/50

**特記事項**

- ※SF-2のファン取替に支障となる箇中に示す放水型スプリンクラー配管の取外し再取付を行う。
- ※パッキン、ボルトナット等の消耗品は取替を行う。
- ※スプリンクラー配管の水抜き、水張り、エア抜き、試運転確認は本工事にて対応する。
- ※ 取外し再取付を示す
- ※工事期間中は消火器(ABC10型)を1階事務所に5本、弓道場入口に5本(計10本)を設置する。
- ※工事を行う際には消防計画書を米子消防署へ提出する。
- ※設置する消火器はリース品とする。



一級建築士事務所／建築設備設計事務所 	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	1/50 (A2)	工事名称	鳥取県立武道館給排気ラインファン更新工事	図面番号 M-14 / 16
		田村	板倉	板倉	板倉	設計年月日	2026.02	図面名称	機械設備工事 消火設備 1階用具庫(1)・空調機械室(2)平面図	

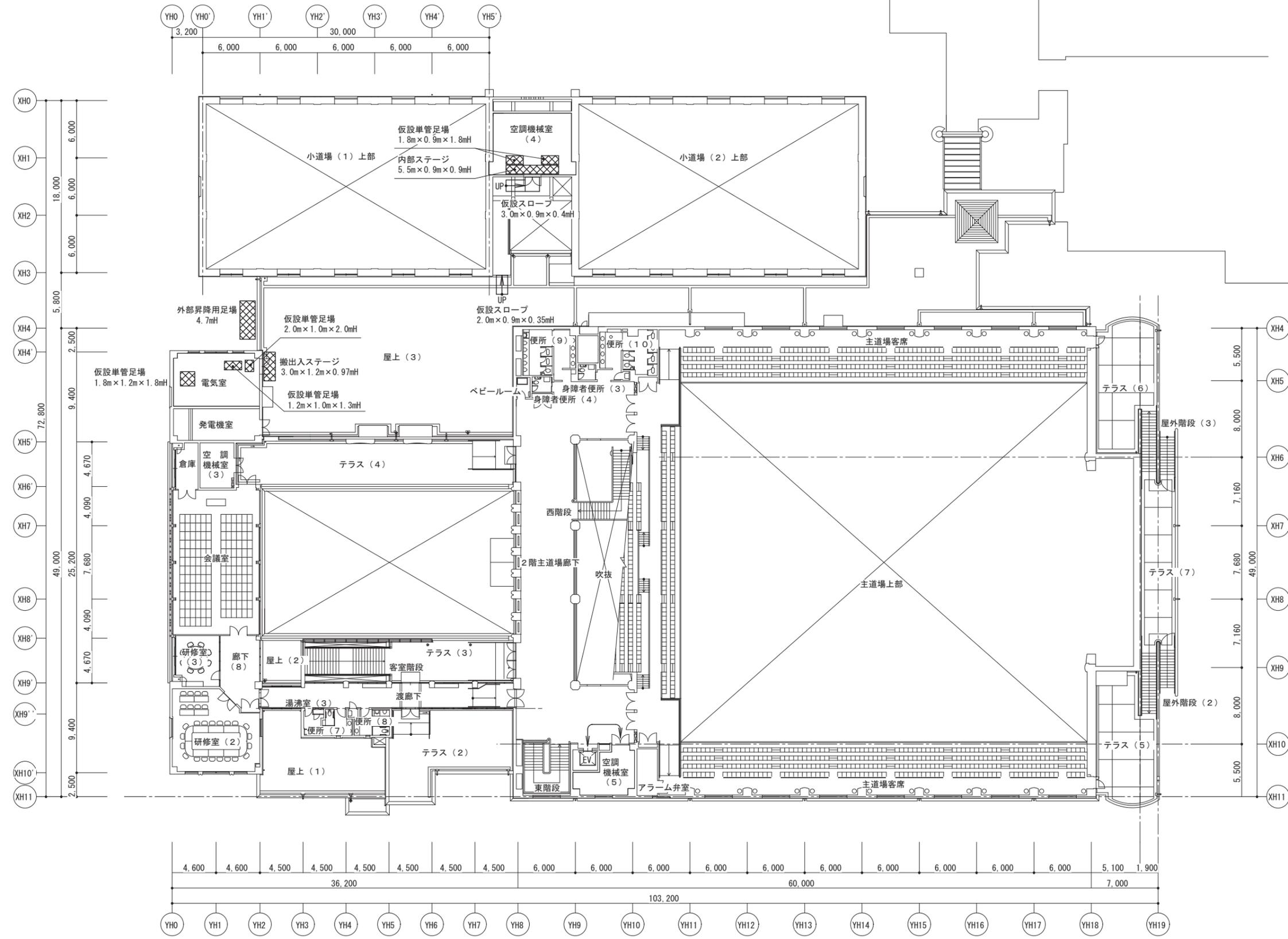


- 特記事項**
- 2階への機器搬出時にはラフテレーンクレーン25tを使用する。
  - ラフテレーンクレーン使用時は敷鉄板を使用すること。(1.5m×3m 4枚)
  - ラフテレーンクレーン使用時は、交通誘導員(想定12人)を配置すること。
  - 施設を使用しながらの工事のため、施設利用者の車を優先し、安全に配慮すること。
  - カラーコーン、バーなどにて工事エリアを区分する。
  - 工事完了後は停滞なく仮設足場などを撤去すること。
  - は場内搬出入経路を示す。
  - 機器など場内で搬出入移動を行う際は養生を行うこと。
  - 既設エレベーター(積載量900kg)を利用することが出来る。
  - 施設を使用しながらの工事のため、搬出入日は施設管理者と協議し、安全に配慮すること。

1階平面図 S=1/300



一級建築士事務所／建築設備設計事務所 <b>X.PLAN</b> Mechanical/Electrical Engineers	一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号 管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号 建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号	承認	管理技術者	担当	作図	縮尺	1/300 (A2)	工事名称	鳥取県立武道館給排気ファン更新工事	図面番号	M-15 / 16
		田村	板倉	板倉	板倉	設計年月日	2026.02	図面名称	機械設備工事 仮設計画 1階平面図		



2階平面図 S=1/300

鳥取県  
令和7年度  
J2500456  
西部環境建築局

一級建築士事務所／建築設備設計事務所  
Mechanical/Electrical Engineers  
**X.PLAN**

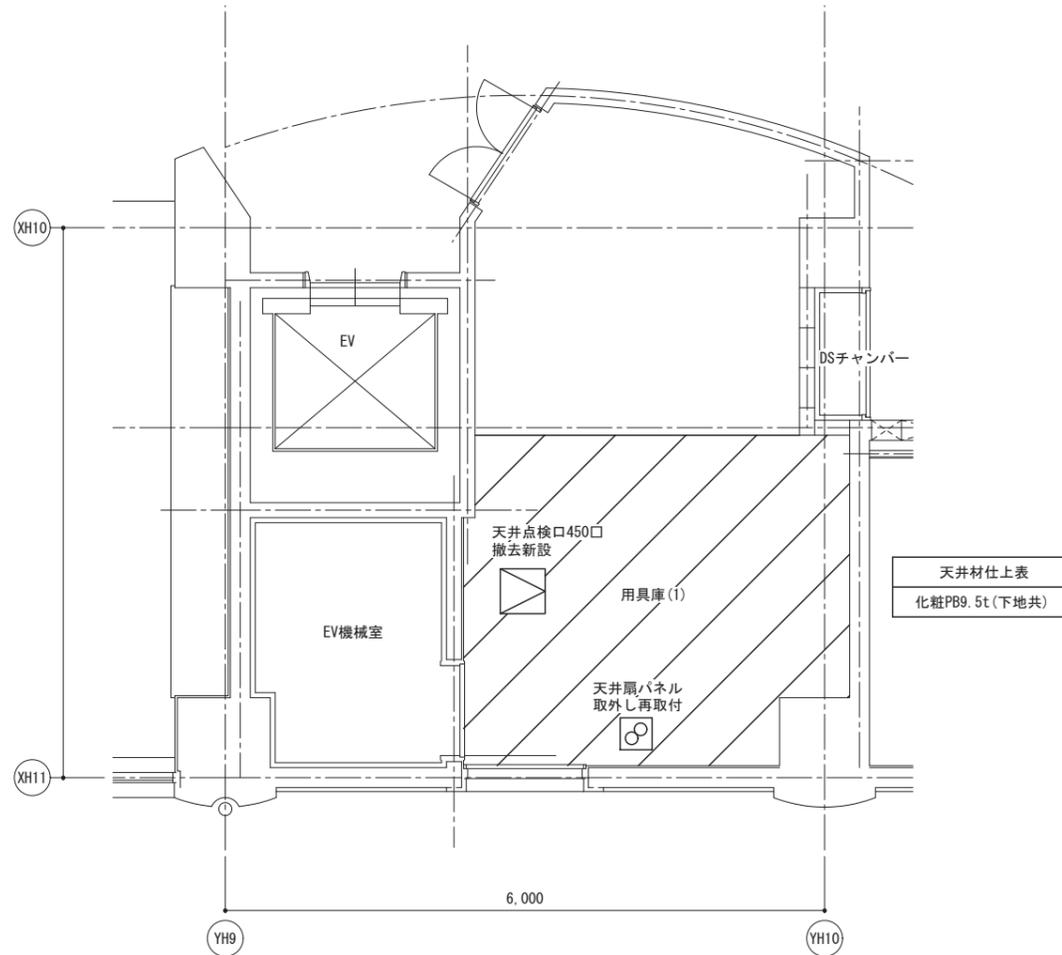
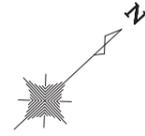
一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号  
管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号  
建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図
田村	板倉	板倉	板倉

縮尺 1/300 (A2)  
設計年月日 2026. 02

工事名称 鳥取県立武道館給排気ファン更新工事  
図面名称 機械設備工事 仮設計画 2階平面図

図面番号 M-16 / 16



1階用具庫(1)平面図 S=1/50

特記事項

- ※  天井解体復旧範囲(約12.2m<sup>2</sup>)を示す。
- ※ 養生・清掃を行うこと。
- ※ 2000年(平成12年)完成のため天井材にアスベストは含まれていないものとするが確認のため分析検査を行うこと。(1検体)
- ※アスベストが含まれていた場合は、関係法令に基づき適切に施工し、処分費については監督員と協議すること。(本設計でアスベスト処分費を見込んでいない)



一級建築士事務所/建築設備設計事務所  
Mechanical&Electrical Engineers  
**X.PLAN**

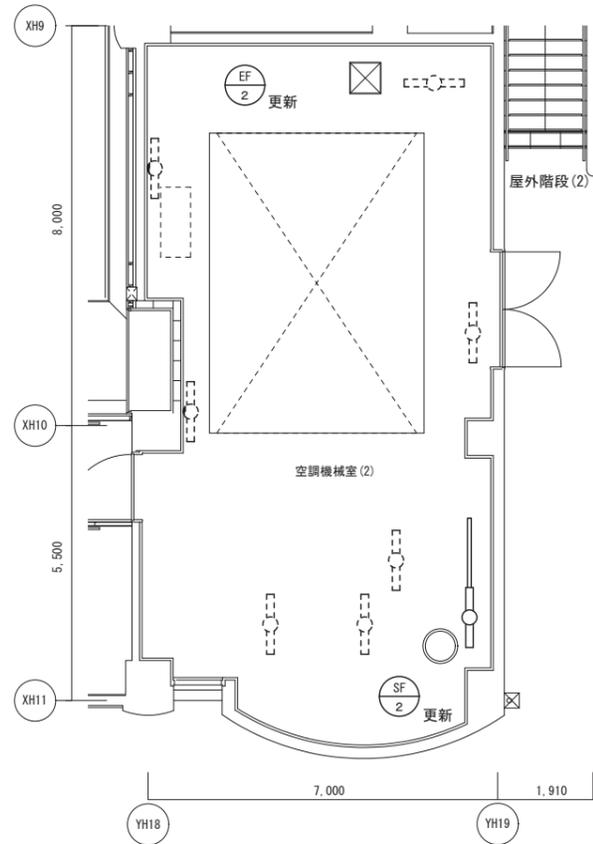
一級建築士事務所 鳥取県知事登録 第 03-1014 号  
管理建築士 川合友加里 一級建築士登録 第 370007 号  
建築設備士 田村志郎 建築設備士登録 第 28F2-7001NT 号

承認	管理技術者	担当	作図
田村	板倉	板倉	板倉

縮尺 1/50 (A2)  
設計年月日 2026.02

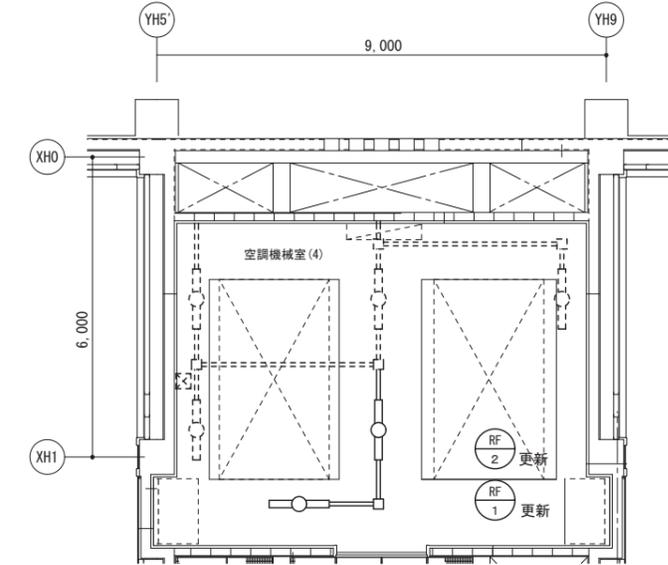
工事名称 鳥取県立武道館給排気ラインファン更新工事  
図面名称 建築工事 1階用具庫(1)平面図

図面番号  
A-01 / 01



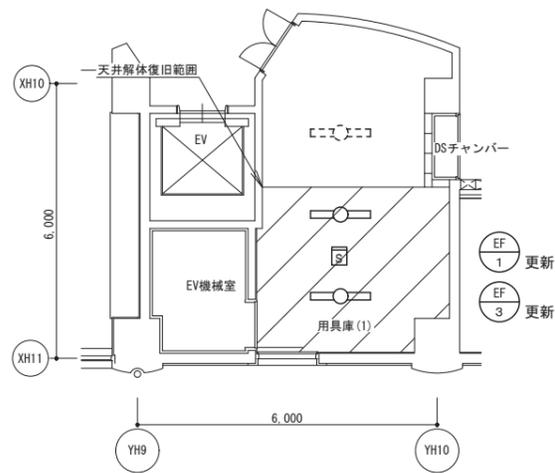
1階空調機械室(2)平面図 S=1/100

給排気ファン移動の際に支障となるため、レール及び照明器具を取外し再取付する。



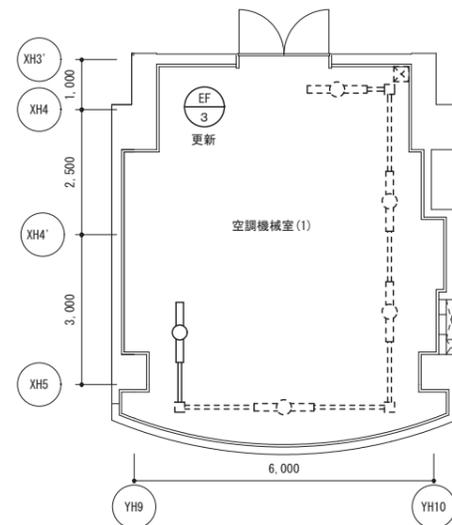
2階空調機械室(4)平面図 S=1/100

給排気ファン移動の際に支障となるため、レール及び照明器具を取外し再取付する。



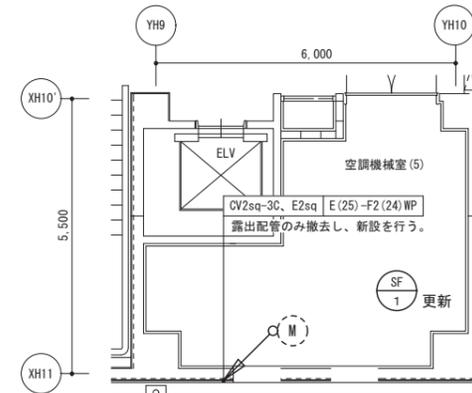
1階用具庫(1)平面図 S=1/100

天井解体復旧に伴い、照明器具及び煙感知器を取外し再取付する。



1階空調機械室(1)平面図 S=1/100

給排気ファン移動の際に支障となるため、レール及び照明器具を取外し再取付する。



2階空調機械室(5)平面図 S=1/100

給排気ファン移動の際に支障となるため、露出配管を撤去・新設する。

注記

1. 既存設備を十分調査の上、施工のこと。			
2. 既設ケーブルは再利用するため、機器更新に伴い離線再接続を行うこと。			
記号	名称	摘要	
	既設LED照明器具	40形 直付	平面図記載を参照
	既設LED非常灯		平面図記載を参照
	既設煙感知器		平面図記載を参照
	既設レースウェイ		平面図記載を参照
	既設LED照明器具	40形 直付	既設のまま
	既設レースウェイ		既設のまま

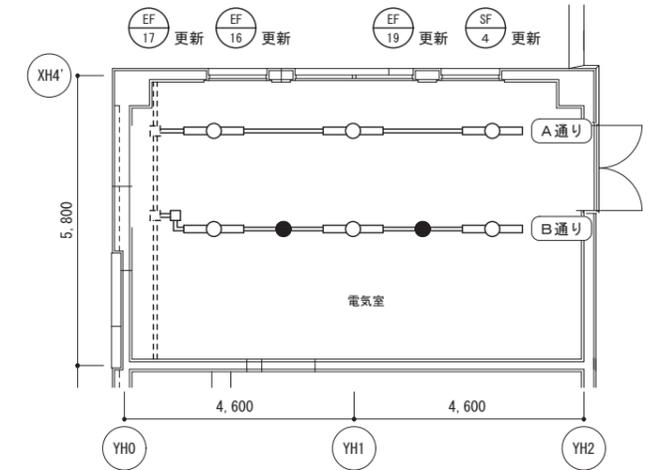
图中、指示なきシボは標準図または凡例による。

電気設備工事特記事項

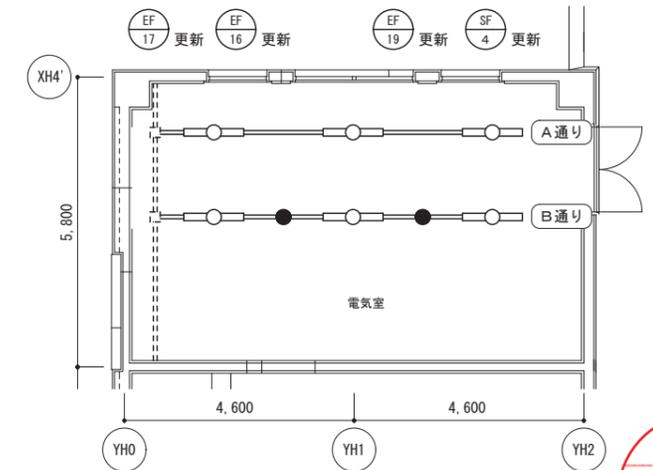
特記仕様

一般事項

- (1) 現場説明書、質問回答書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の標準仕様等のうち、●印の付いたものによる。
- 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）（以下、「標準仕様書」という。）
  - 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）
  - 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和4年版）（以下、「標準図」という。）
- (2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針（令和4年版）」（以下「監理指針」という。）を適用する。



2階電気室平面図(改修後) S=1/100



2階電気室平面図(改修前) S=1/100

- A通り 給排気ファン移動の際に支障となるため、レール及び照明器具を取外し再取付する。
- B通り 天井の扉開閉に支障をきたすため、既設レールを撤去し、新設レールにて移動を行う。照明器具及び非常灯は取外し再取付とする。

